



2024年度 入学試験要項

総合型選抜

特別奨学生入試

一般選抜

前期入試

共通テストプラス方式

後期入試

共通テスト利用入試

本学の建学の精神と基本理念、各学部・学科の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の学習・教育環境を積極的に活用して、深い知識と幅広い領域の学修を志している意欲に燃えた学生を求めます。なお、各学部・学科が教育研究上の目的を達成するための基本とされる知識を有することが必要です。そのためには高等学校での基礎となる教科等の勉学を必要とし、積極的な学習姿勢を堅持していることが大切です。その上で、皆さんが本学での学生生活を十分理解し、明確な勉学目的と意思を持って入学されることを期待しています。

■建学の精神

「不言実行、あてになる人間」

■基本理念

中部大学は、建学の精神「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■学部教育の目的

本学の教育上の使命に沿い、それぞれの専門分野の基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、そして自ら学び続ける能力を身につけた、専門職業人/有識社会人となる人間を世に送り出します。

■3つのポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP）は本学WEBサイトで公表しています。

ディプロマ・ポリシー（DP）：卒業認定・学位授与に関する基本的な方針

カリキュラム・ポリシー（CP）：教育の実施に関する基本的な方針

アドミッション・ポリシー（AP）：DP・CPに沿った学生募集の方針

各学科における3つのポリシー

<https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/study/3policy/>

■入学試験要項について

中部大学入学試験の出願は、インターネット出願を利用します。この「入学試験要項」には、入試の概要と出願から入学手続までの事項を掲載しています。「入学試験要項」を熟読して内容を理解し、出願期間内に必要書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や書類に不備がある場合、出願は無効となります。詳細は11インターネット出願を確認してください。また、入試等についてのお問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

■個人情報の取扱いについて

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

(1)入試の実施（出願処理・試験の実施等）

(2)入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は、上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者（以下、「委託業者」という）において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対しても、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

氏名・住所・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを漏洩した結果、後日執拗につきまわられたり、思わぬ深刻な事態に巻き込まれたりすることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないようにしてください。中部大学では、問い合わせがあっても志願者の住所・電話番号等は教えません。また、試験当日、試験場及び駅周辺で合否連絡などを口実に、個人情報を記入させ、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせていることがあります。中部大学とは一切関係がありません。十分注意してください。

中部大学の合否発表は、インターネットを利用して行います。

■不測の事態が発生した場合について

災害等不測の事態が発生したことにより、入学試験の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトまたは「CUhub」[マイページ](#)で周知しますので注意してください。

入試に関するお問合せ先

中部大学入学センター TEL (0120) 873-941

○午前9時～午後5時 (2023年12月28日～2024年1月4日を除く平日のみ)

「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中 (2023年12月29日～2024年1月3日を除く)

○時間 午前9時～午後8時

出願書類の不備等に関する連絡先

※出願書類に不備のあった方に本電話番号より連絡します。

中部大学入学願書受付センター TEL 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244

○期間 出願期間中 (2023年12月28日～2024年1月4日を除く)

○時間 午前9時～午後5時 (平日のみ)

入試当日のお問い合わせ先

中部大学代表電話 TEL (0568) 51-1111

I N D E X

■ 出願の前に

1. 募集人員	5
2. 入試日程	6
3. 出願資格	7

■ 入試制度

4. 入試科目について	7
5. 特別奨学生入試	8
6. 前期入試 A方式・B方式・共通テストプラス方式・AM方式・BM方式	10
7. 後期入試	17
8. 共通テスト利用入試	18

■ 出願方法

9. 出願書類	22
10. CUhubマイページ	25
11. インターネット出願	27
12. 出願上の注意	28
13. 受験上の配慮申請について	29

■ 試験／合格発表／入学手続

14. 受験票	30
15. 試験当日の注意	31
16. 試験会場	32
17. 合格発表	35
18. 入学手続	36

■ 学費／アドミッション・ポリシー

19. 2024年度入学者学費等	37
20. アドミッション・ポリシー	38
21. 入学検定料の返還	48
22. 入試における学力の3要素	49
志願受付確認票	

1. 募集人員

学部	学 科	定員	学校 推薦型 選抜	ポート フォリオ	特別 奨学生	前期	前期	共通 テスト プラス 方式	前期	前期	後期	共通テスト利用前期			共通テスト利用後期			
						A方式 3教科	B方式 高得点 2教科		AM方式 高得点 3教科	BM方式 高得点 2教科		2教科	3教科	5教科	2教科	3教科	5教科	
工	機 械 工 学 科	160	49	7	6	33	27	4	15	10	3	2	2	2	若干名			
	都 市 建 設 工 学 科	80	32	3	3	15	6	2	5	5	3	2	2	2	若干名			
	建 築 学 科	110	43	7	4	21	8	4	7	7	3	2	2	2	若干名			
	応 用 化 学 科	90	32	3	3	18	12	3	5	5	3	2	2	2	若干名			
	情 報 工 学 科	120	40	4	4	24	19	4	8	8	3	2	2	2	若干名			
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	160	49	7	6	33	27	4	15	10	3	2	2	2	若干名			
	計	720	245	31	26	144	99	21	55	45	18	12	12	12	若干名			
経 営 情 報	経 営 総 合 学 科	300	120	15	17	57	33	8	22	17	5	2	2	2	若干名			
	計	300	120	15	17	57	33	8	22	17	5	2	2	2	若干名			
国 際 関 係	国 際 学 科	140	51	19	8	24	8	5	8	8	3	2	2	2	若干名			
	計	140	51	19	8	24	8	5	8	8	3	2	2	2	若干名			
人 文	日 本 語 日 本 文 化 学 科	80	25	7	2	15	8	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	英 語 英 米 文 化 学 科	70	25	12	2	12	3	2	3	3	2	2	2	2	若干名			
	心 理 学 科	90	33	7	2	18	7	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	歴 史 地 理 学 科	90	33	7	2	18	7	4	5	5	3	2	2	2	若干名			
	メ デ ィ ア 情 報 社 会 学 科	70	25	7	2	12	3	2	5	5	3	2	2	2	若干名			
	計	400	141	40	10	75	28	16	23	23	14	10	10	10	若干名			
応 用 生 物	応 用 生 物 化 学 科	110	37	5	3	21	12	4	10	10	2	2	2	2	若干名			
	環 境 生 物 科 学 科	110	37	5	3	21	12	4	10	10	2	2	2	2	若干名			
	食 品 栄 養 科 学 科	食 品 栄 養 科 学 専 攻	60	26	3	3	9	5	3	3	3	2	1	1	1	若干名		
		管 理 栄 養 科 学 専 攻	80	22	3	3	15	16	4	5	5	2	2	2	1	若干名		
	計	360	122	16	12	66	45	15	28	28	8	7	7	6	若干名			
生 命 健 康 科	生 命 医 科 学 科	60	26	3	3	9	4	4	3	3	2	1	1	1	若干名			
	保 健 看 護 学 科	100	41	5	3	18	7	4	7	7	2	2	2	2	若干名			
	理 学 療 法 学 科	40	13	2	3	6	3	3	3	2	2	1	1	1	若干名			
	作 業 療 法 学 科	40	14	3	2	6	3	3	2	2	2	1	1	1	若干名			
	臨 床 工 学 科	40	11	3	2	6	3	4	3	3	2	1	1	1	若干名			
	ス ポ ー ツ 保 健 医 療 学 科	80	33	5	3	12	5	4	5	5	2	2	2	2	若干名			
計	360	138	21	16	57	25	22	23	22	12	8	8	8	若干名				
現 代 教 育	幼 児 教 育 学 科	80	32	2	2	15	11	4	4	5	2	1	1	1	若干名			
	現 代 教 育 学 科	現 代 教 育 専 攻	60	20	1	2	12	10	4	3	3	2	1	1	1	若干名		
		中 等 教 育 国 語 数 学 専 攻	20	2	1	2	3	2	2	2	2	1	1	1	1	若干名		
	計	160	54	4	6	30	23	10	9	10	5	3	3	3	若干名			
理 工	数 理 ・ 物 理 サ イ エ ン ス 学 科	40	8	2	2	9	6	2	3	3	2	1	1	1	若干名			
	A I ロ ボ テ ィ ッ ク ス 学 科	80	23	3	3	15	12	4	7	7	3	1	1	1	若干名			
	宇 宙 航 空 学 科	80	23	3	6	15	9	4	6	5	3	2	2	2	若干名			
	計	200	54	8	11	39	27	10	16	15	8	4	4	4	若干名			
合 計	2,640	925	154	106	492	288	107	184	168	73	48	48	47	若干名				

1. 応用生物学部食品栄養科学科は、食品栄養科学専攻と管理栄養科学専攻に分けて募集します。
2. 現代教育学部現代教育学科は、現代教育専攻と中等教育国語数学専攻に分けて募集します。
3. 特別奨学生入試の募集人員は、特別奨学生と一般合格者の合計数です。
4. 学校推薦型選抜の募集人員は、指定校・併設校・特技・一般推薦入試の合計数です。

2.入試日程

入試制度		対象学部	出願期間（消印有効）	受験票発行開始	試験日	会場	可否発表
総合型選抜	特別奨学生入試	全学部	2023年11月24日(金) ↓ 2023年12月3日(日) ※出願登録は11月17日(金)午前9時から最終日午後5時まで	2023年12月13日(水) 午前9時	2023年12月17日(日) 特別奨学生候補者面接日 2024年1月6日(土)	本学地区Ⅰ	一般合格 2023年12月23日(土) 午前11時 特別奨学生合格 2024年1月11日(木) 午前11時
	A方式 (選抜奨学生対象) ・ B方式		2024年1月5日(金) ↓ 2024年1月16日(火) ※出願登録は12月18日(月)午前9時から最終日午後5時まで	2024年1月26日(金) 午前9時	2024年2月1日(木)	本学地区Ⅱ	2024年2月16日(金) 午前11時
AM方式 ・ BM方式	2024年2月2日(金)				本学地区Ⅲ		
	2024年2月3日(土)					本学	
共通テストプラス方式	2024年2月4日(日)		—				
	2024年2月5日(月)			大学入学共通テストおよび前期入試A方式を受験			
共通テスト利用入試	前期 (2・3・5教科型)		2024年1月5日(金) ↓ 2024年1月18日(木) ※出願登録は12月18日(月)午前9時から最終日午後5時まで	2024年3月5日(火) 午前9時	—	大学入学共通テストを受験 個別試験は課さない	
	後期 (2・3・5教科型)						
	後期入試		2024年2月16日(金) 午前9時から ↓ 2024年2月25日(日) 午後5時まで	2024年3月9日(土)	本学地区Ⅳ		

〔注意〕

- 出願期間最終日翌日の午前9時30分～正午に限り、中部大学入学センター窓口で出願書類を受理します。ただし、最終日翌日が土・日・祝日の場合は、翌平日午前9時30分～正午に受理します。なお、最終日翌日には新規の出願登録は受け付けません。
- 地区試験会場（※詳細は16 試験会場 参照）※ただし、志願者数によっては本学会場に変更する場合があります。
地区Ⅰ：東京、富山、金沢、飯田、岐阜、高山、静岡、浜松、豊橋、津、岡山
地区Ⅱ：東京、金沢、松本、静岡、彦根、大阪、広島、高松、福岡
地区Ⅲ：富山、岐阜、浜松、豊橋、津
地区Ⅳ：岐阜、浜松、豊橋、津
- 出願・受験・可否・手続システム「CUhub」のアカウントは出願期間外でも作成可能です。出願登録は、各入試とも出願期間初日または登録開始日の午前9時から最終日午後5時までに行い、出願期間内に到着するよう郵送してください。出願書類は出願期間最終日消印有効とします。出願期間中は24時間登録が可能です。
- 入学検定料納入期限は、出願登録を行った翌日の23時59分（最終日は当日の23時59分）までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。

3. 出願資格

1. 特別奨学生入試・前期入試・後期入試

次のいずれかに該当する者

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月31日までに卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次の各号のいずれかに該当する者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 学校教育法第90条第2項の規定により他の大学に入学した者で、その後本学において、大学教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
 - ⑦ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2024年3月31日までに18歳に達したもの

〔注意〕 出願資格⑥・⑦に該当する場合は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願期間初日の2週間前までに、中部大学入学センターに問い合わせてください。

前期入試 共通テストプラス方式

次の1、2の両方に該当する者

1. 2024年度本学前期入試A方式において、本学の指定した教科・科目をすべて受験する者
2. 2024（令和6）年度大学入学共通テストで、本学の指定した教科・科目を受験する者

※前期入試A方式を1科目でも欠席した場合、共通テストプラス方式も欠席扱いとなりますのでご注意ください。

2. 共通テスト利用入試

2024（令和6）年度大学入学共通テストで、本学が指定した教科・科目を受験する者

4. 入試科目について

1. 入試科目略記号と入試科目範囲について

本学の学力検査の入試科目は下表のとおり略記号で表しています。

略記号	科目
国 語	「国語総合（古文漢文を除く）、現代文B」
数学①	「数学Ⅰ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）」
数学②	「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、ベクトル）」
物理①	「物理基礎」
物理②	「物理基礎、物理」
化学①	「化学基礎」
化学②	「化学基礎、化学」
生物①	「生物基礎」
英 語	「コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ」

2. 選択科目について

入試科目のうちで選択科目がある場合は、試験会場で選択してください。事前に選択科目を提出する必要はありません。

3. 「入試過去問題活用宣言」について

中部大学は「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

詳細は「入試過去問題活用宣言」ウェブサイト <https://www.nyushikakomon.jp/> をご覧ください。

5.特別奨学生入試 高得点3教科型入試 他大学との併願可 一般合格も同時選抜

中部大学の特別奨学生入試は、学業、人物ともに優れ、本学の建学の精神と基本理念に深く賛同し、自己実現を図ろうとする意欲ある特別奨学生を選考し育成する目的で、昭和39年、本学（前身の中部工業大学）開学と同時に、設けられた奨学金制度です。特別奨学生には、入学時及び奨学期間に本学へ納付する入学料、授業料、施設設備費、教育充実費に相当する額を、免除又は支給します。

特別奨学生制度

1. 奨学期間：奨学期間は原則として4年間です（ただし、奨学期間中に特別奨学生として不適格（学業成績等）と認められたときは、特別奨学生の資格を取り消します）。
2. 奨学金：修学諸費及び委託徴収会費を除く、入学料、授業料、施設設備費、教育充実費を免除又は支給します。
3. 募集人員：全学部で50人以内

特別奨学生候補者の面接について

特別奨学生候補者として選抜された者には、2024年1月6日(土)に面接を実施します。該当者には、2023年12月23日(土)に「CUhub」の「合否結果」で通知します。なお、特別奨学生の合否発表日は2024年1月11日(木)です。面接を欠席または不合格となった場合は、一般合格者となります。

一般合格者（奨学金なし）について

特別奨学生として選抜されなかった場合でも、一定の学力を有すると認められた者を一般合格者として選抜します。合格者は2023年12月23日(土)に「CUhub」の「合否結果」で通知します。特別奨学生候補者も一般合格者の権利を得られます。

今年度本学入試を受験した方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、特別奨学生入試に出願することができます（専願入試の合格者は同一学科・専攻に限る）。また、出願期間初日までに、今年度の本学入試を受験した方（受験票を持っている方※）は、同一のCUhubアカウントから出願した場合、入学検定料35,000円を30,000円に割引します。※特別選抜入試・編入学試験・大学院入試・共通テスト利用入試を除く。

出願期間

2023年11月24日(金)～12月3日(日)（消印有効）※出願登録は11月17日(金)午前9時から可能です。

試験日・試験会場

2023年12月17日(日)「地区I※」本学・東京・富山・金沢・飯田・岐阜・高山・静岡・浜松・豊橋・津・岡山
 ※詳細は16試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査（調査書[注1]・志望理由[注2]）及び学力検査で行います。
 なお、特別奨学生候補者は2024年1月6日(土)に本学で面接を行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。
 注1 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格者等調査書が発行できない者は試験当日面接を実施し、調査書に代えます。そのため、試験会場は「本学」に限ります。
 注2 志望理由は、インターネット出願の際に200字以内で入力してください（所定の様式はありません）。

試験内容

学部	書類審査		学力検査		合計点
	調査書	志望理由	教科数	合計点	
工	全体の学習成績の状況 (評定平均値) 20点	200字以内 特別奨学生候補者 面接参考資料	3教科	300点	320点 ※2
経営情報				300点	
国際関係				300点	
人文				300点 ※1	
応用生物				300点	
生命健康科				300点	
現代教育				300点	
理工			300点		

※1 英語英米文化学科は350点
 ※2 英語英米文化学科は370点

1. 解答方式は全問マークシート（マークセンス）方式の3教科型試験です。
 3教科以上を受験し、必須科目を含めた高得点の3教科で合否を判定します。
2. 必須科目 工学部・理工学部…数学② 国際関係学部…英語 人文学部 英語英米文化学科…英語
 上記を除く学部・学科（専攻）には必須科目を設けません。
3. 全学部とも必須科目を含む3教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
 なお、4教科とも受験した場合は、必須科目を含む高得点の3教科で合否判定を行います。

試験科目・配点

※科目略記号は **4** 入試科目について を参照してください。

特別奨学生入試					
学部	教科	科目（選択科目は試験会場で選択）		配点	試験時間
工 ・ 理 工	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学②」 (必須科目)		100点	60分
経 営 情 報	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	地理歴史 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「政治・経済」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
国 際 関 係 ・ 人 文	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	日本語日本文化学科	「英語」	100点	60分
		心 理 学 科			
		歴 史 地 理 学 科			
		メディア情報社会学科			
		国 際 学 科	「英語」		
		英 語 英 米 文 化 学 科	「英語」	(必須科目)	150点
	地理歴史 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「政治・経済」 から 1 科目選択		100点	60分
数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分	
応 用 生 物	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
生 命 健 康 科	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「物理①」「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
現 代 教 育	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	地理歴史 公 民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「政治・経済」 から 1 科目選択		100点	60分
	理 科	「物理①」「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」			
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分

時間割

		10:00		11:30		13:30		15:00	
全学部		国 語		外 国 語		地 歴 公 民 理 科		数 学	
			11:00		12:30		14:30		16:00

集合時間は、1時限目は9時40分、2時限目は11時20分、3時限目は13時20分、4時限目は14時50分とします（1時限目を受験しない者の2時限目の試験室への入室開始時間は11時15分とし、2時限目を受験しない者の3時限目の入室開始時間は13時、3時限目を受験しない者の4時限目の入室開始時間は14時45分とします）。

6. 前期入試 前期入試は5日間 合計14地区で実施

A方式 3教科型入試

- ・解答方式は記述式（国語と数学の一部）とマークセンス方式。
- ・全学部とも3教科のうち1教科でも受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
- ・合格者の内、優秀な試験成績を収めた者の中から選抜奨学生を選抜します。
- ・1日の試験で1学科（専攻）に出願できます。同日のA方式、B方式、共通テストプラス方式の出願学科は同一学科（専攻）となり、方式ごとに出願する学科（専攻）の変更はできません。
- ・A方式出願者は同日のB方式に自動的に出願します。また、希望者は共通テストプラス方式の合否判定も行います。
- ・A方式のみ出願することはできません。B方式との同時出願を必須とします。

選抜奨学生制度

1. 奨学期間：奨学期間は原則として4年間です（ただし、奨学期間中に奨学生として不適格（学業成績等）と認められたときは、奨学生の資格を取り消します）。
2. 奨学金：入学初年度は、修学諸費及び委託徴収会費を除く入学金、授業料、施設設備費、教育充実費を免除または支給します。2年次以降は、年間学費から50万円を差し引いた額を奨学金として支給します。
3. 募集人員：全学部で合計164人以内

B方式 高得点2教科型入試

- ・解答方式は記述式（国語と数学の一部）とマークセンス方式。
- ・全学部とも必須科目を含む2教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
- ・3教科を受験した中から、必須科目を含む高得点の2教科で合否判定を行います。
- ・2教科のみ受験した場合、B方式の合否判定は行いますが、A方式と共通テストプラス方式の合否判定は行いません。
- ・1日の試験で1学科（専攻）に出願できます。同日のA方式、B方式、共通テストプラス方式の出願学科は同一学科（専攻）となり、方式ごとに出願する学科（専攻）の変更はできません。
- ・B方式出願者は同日のA方式に自動的に出願します。
- ・B方式のみ出願することはできません。A方式との同時出願を必須とします。

AM方式 高得点3教科型入試

- ・解答方式は全問マークセンス方式。
- ・各学部・学科（専攻）の入試科目の条件を満たせば、複数学科（専攻）の併願が可能です。
- ・全学部とも必須科目を含む3教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
- ・4教科とも受験した場合は、必須科目を含む高得点の3教科で合否判定を行います。
- ・同日のAM方式とBM方式の両方に出願することはできません。

BM方式 高得点2教科型入試

- ・解答方式は全問マークセンス方式。
- ・各学部・学科（専攻）の入試科目の条件を満たせば、複数学科（専攻）の併願が可能です。
- ・全学部とも必須科目を含む2教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
- ・3教科以上受験した場合は、必須科目を含む高得点の2教科で合否判定を行います。
- ・同日のAM方式とBM方式の両方に出願することはできません。

出願について

1. A方式・B方式（2月1日・2日・3日）、AM方式・BM方式（2月4日・5日）の各方式に同一学科（専攻）の出願ができます。
2. A方式において、同一学科（専攻）の複数日の出願ができます。ただし、A方式で同一学科（専攻）を複数日受験した場合は、試験日毎の合計点の成績が高得点の日のものを使用し、合否判定を行います。
3. AM方式またはBM方式において、同一学科（専攻）の複数日の出願ができます。ただし、AM方式またはBM方式で同一学科（専攻）を複数日受験した場合は、試験日毎の合計点の成績が高得点の日のものを使用し、合否判定を行います。

複数入試区分・方式への出願について

前期入試A方式（B方式・共通テストプラス方式）、AM方式・BM方式、共通テスト利用入試（前期）は一度にまとめて出願できます。

今年度本学入試を受験した方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、前期入試に出願することができます（専願入試の合格者は同一学科・専攻に限る）。また、今年度の本学入試を受験した方（出願期間初日までに受験票を持っている方※）は、同一のCUhubアカウントから出願することで、**前期入試A方式(B方式・共通テストプラス方式)の入学検定料30,000円を25,000円に、前期入試AM・BM方式の入学検定料30,000円を25,000円に割引**します。※特別選抜入試・編入学試験・大学院入試・共通テスト利用入試を除く。

A 方式 3 教科型入試 選抜奨学生制度 対象入試

出願期間

2024 年 1 月 5 日(金)～1 月 16 日(火) (消印有効) ※出願登録は 12 月 18 日(月)午前 9 時から可能です。

試験日・試験会場

2024 年 2 月 1 日(木) 地区Ⅱ※ 本学・東京・金沢・松本・静岡・彦根・大阪・広島・高松・福岡
 2024 年 2 月 2 日(金) 地区Ⅱ※ 本学・東京・金沢・松本・静岡・彦根・大阪・広島・高松・福岡
 2024 年 2 月 3 日(土) 本学 ※詳細は 16 試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査(調査書)及び学力検査で行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。

試験内容

学部	教科数	合計点
工	3教科	300点
経営情報		300点
国際関係		300点
人文		300点 (英語英米文化学科は350点)
応用生物		300点
生命健康科		300点
現代教育		300点
理工		300点

1. 解答方式は記述式(国語と数学の一部)とマークセンス方式の3教科型試験です。
2. 全学部とも3教科を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。

B 方式 高得点 2 教科型入試 A 方式と同時判定

出願期間

2024 年 1 月 5 日(金)～1 月 16 日(火) (消印有効) ※出願登録は 12 月 18 日(月)午前 9 時から可能です。

試験日・試験会場

2024 年 2 月 1 日(木) 地区Ⅱ※ 本学・東京・金沢・松本・静岡・彦根・大阪・広島・高松・福岡
 2024 年 2 月 2 日(金) 地区Ⅱ※ 本学・東京・金沢・松本・静岡・彦根・大阪・広島・高松・福岡
 2024 年 2 月 3 日(土) 本学 ※詳細は 16 試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査(調査書)及び学力検査で行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。

試験内容

学部	教科数	合計点
工	2教科	200点
経営情報		200点
国際関係		200点
人文		200点 (英語英米文化学科は250点)
応用生物		200点
生命健康科		200点
現代教育		200点
理工		200点

1. 解答方式は記述式(国語と数学の一部)とマークセンス方式の2教科型試験です。
2. 必須科目 工学部・理工学部…数学② 国際関係学部…英語 人文学部 英語英米文化学科…英語
 上記を除く学部・学科(専攻)には必須科目を設けません。
3. 全学部とも必須科目を含む2教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
 なお、3教科とも受験した場合は、必須科目を含む高得点の2教科で合否判定を行います。

試験科目・配点

※科目略記号は **4** 入試科目について を参照してください。

A方式・B方式					
学部	教科	科目（選択科目は試験会場で選択）		配点	試験時間
工・理工	数 学	「数学②」 （必須科目）		100点	90分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
経営情報・国際関係・人文	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	経 営 総 合 学 科	「英語」	100点	60分
		日 本 語 日 本 文 化 学 科			
		心 理 学 科			
		歴 史 地 理 学 科			
		メ デ ィ ア 情 報 社 会 学 科			
	国 際 学 科	「英語」 （必須科目）	150点		
英 語 英 米 文 化 学 科	「英語」 （必須科目）				
地 理 歴 史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100点	60分	
公 民	「政治・経済」 から 1 科目選択				
数 学	「数学①」				
応 用 生 物	国 語	「国語」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」		100点	60分
	外 国 語	「英語」			
理 科	「化学①」「生物①」 から 1 科目選択		100点	60分	
生 命 健 康 科	国 語	「国語」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」		100点	60分
	外 国 語	「英語」			
理 科	「物理①」「化学①」「生物①」 から 1 科目選択		100点	60分	
現 代 教 育	国 語 数 学	幼 児 教 育 学 科	「国語」「数学①」	100点	60分
		現 代 教 育 学 科 現 代 教 育 専 攻			
	外 国 語	現 代 教 育 学 科 中 等 教 育 国 語 ・ 数 学 専 攻	「国語」「数学②」	100点	60分
		「英語」			
地 理 歴 史	「世界史B」「日本史B」「地理B」		100点	60分	
公 民	「政治・経済」 から 1 科目選択				
理 科	「物理①」「化学①」「生物①」				

時間割

	10:00	11:30	12:30	14:00	
工・理工	数 学	昼 食	外 国 語	理 科	
経・国・人				国 語	地 歴 公 民 数 学
応・生				国 語 数 学	理 科
現				数 学	地 歴 公 民 理 科
	11:00		13:30	15:00	

集合時間は、9時40分です。1時限目を受験しない者の2時限目の試験室への入室開始時間は12時とし、2時限目を受験しない者の3時限目の入室開始時間は13時45分とします。ただし、2教科のみ受験した場合（1教科欠席した場合）、B方式の合否判定は行いますが、A方式と共通テストプラス方式の合否判定は行いませんのでご注意ください。

共通テストプラス方式 前期入試 A 方式と大学入学共通テストの成績で合否判定

本学の共通テストプラス方式は独自の試験を実施しません。「前期入試 A 方式」と「大学入学共通テスト」の成績を使用する入試制度です。大学入学共通テストを受験し、本学の前期入試 A 方式に志願する者のうち希望により、共通テストプラス方式に出願できます。

出願資格

大学入学共通テストで本学の指定した教科・科目を受験し、前期入試 A 方式を受験する者

出願期間

2024 年 1 月 5 日(金)～1 月 16 日(火) (消印有効) ※出願登録は 12 月 18 日(月)午前 9 時から可能です。

※前期入試 A 方式と同時出願すること。後日 A 方式に追加して出願することはできません。

選抜方法

書類審査(調査書)及び前期入試 A 方式の成績(高得点 1 教科)と大学入学共通テストの成績(高得点 2 教科・科目)に基づき行います。個別の試験は行いません。英語英米文化学科の前期入試 A 方式の成績(高得点 1 教科)は「英語」が必須です。

※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。合否判定には利用しません。

対象学科

全学部全学科

試験内容

- 共通テストプラス方式を希望する者は、前期入試 A 方式に出願する際に、同時に出願してください。希望しない場合や、大学入学共通テストを受験していない場合は、出願登録の際に選択を解除してください。ただし、共通テストプラス方式を選択しないことによる入学検定料の割引はありません。また、共通テストプラス方式のみ出願することはできません。
- 共通テストプラスの選抜について
 - ①本学の試験の成績は、前期入試 A 方式の高得点 1 教科を使用し、得点は 100 点満点とします。ただし、英語英米文化学科は「英語」を必須とし、得点は 150 点満点とします。
 - ②大学入学共通テストの成績は、本学各学部指定の教科・科目のうち 2 教科を使用し、得点は 200 点満点とします(3 教科・科目以上受験した場合は、高得点の 2 教科・科目を合否判定に使用します)。
 - ③共通テストプラス方式の合計点は 300 点満点です。ただし、英語英米文化学科は 350 点満点です。
- 共通テストプラス方式の選抜対象者は、前期入試 A 方式の選抜対象者でなければなりません。したがって、前期入試 A 方式の途中棄権者及び指定科目の未受験者は、共通テストプラス方式の選抜対象となりません。
- 共通テストプラス方式の出願は、前期入試 A 方式で出願した試験日及び学科(専攻)とします。また、共通テストプラス方式は前期入試 A 方式と同様に同一方式において、同一学科(専攻)の併願を可とします(前期入試 A 方式に連動して同一学科を複数日出願することができます。複数日出願した場合は、前期入試 A 方式の試験成績が最も高得点の 1 教科を使用し選抜します。ただし、英語英米文化学科は「英語」の得点を使用します)。
- 大学入学共通テストの成績は 2024(令和 6)年度大学入学共通テストの得点に基づいて行い、前年度以前の成績は使用しません。

試験科目・配点

※科目略記号は **4** 入試科目について を参照してください。

共通テストプラス方式						
学部	前期入試A方式の指定科目		大学入学共通テストの指定科目			合計点
	科目	配点	教科	科目	配点	
工・理・工	「数学②」 「物理②」 「化学②」 「英語」	高得点 1科目 100点	数 学 理 科 外 国 語	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理」、「化学」 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点
経営情報	「国語」 「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 「政治・経済」 「数学①」 「英語」	高得点 1科目 100点	国 語 地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	「国語」(近代以降の文章) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」か ら2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点
国際関係・人文	「国語」 「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 「政治・経済」 「数学①」 「英語」 <small>(英語英米文化学科「英語」必須)</small>	高得点 1科目 100点 (英語英米文化 学科は150点)	国 語 地 理 歴 史 公 民 数 学 外 国 語	「国語」(近代以降の文章) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点 (英語英米文化学科は 350点)
応用生物	「国語」 「数学①」 「化学①」 「生物①」 「英語」	高得点 1科目 100点	国 語 数 学 理 科 外 国 語	「国語」(近代以降の文章) 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」か ら2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点
生命健康科	「国語」 「数学①」 「物理①」 「化学①」 「生物①」 「英語」	高得点 1科目 100点	国 語 数 学 理 科 外 国 語	「国語」(近代以降の文章) 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」か ら2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点
現代教育	「国語」 「世界史B」 「日本史B」 「地理B」 「政治・経済」 「数学①」 「数学②」 「物理①」 「化学①」 「生物①」 「英語」	高得点 1科目 100点	国 語 地 理 歴 史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	「国語」(近代以降の文章) 「世界史B」、「日本史B」、「地理B」 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」 「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」か ら2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目 「英語」、「ドイツ語」、 「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	高得点2教科 (科目)各100点 合計200点	A方式 + 大学入学共通テスト 合計300点

注意

1. 人文学部英語英米文化学科の前期入試A方式の成績は「英語」を必須とし、得点は150点満点とします。
2. 前期入試A方式を受験し、選抜対象者でなければなりません。
3. 大学入学共通テスト「外国語」で「英語」を選択した場合、全学部ともリスニングテストを課します。
リーディングとリスニングの配点比率は「4：1」とし、リーディングは80点満点に、リスニングは20点満点にそれぞれ換算し、合計100点満点として合否判定に使用します。

AM 方式 高得点3教科型入試 1日の入試結果で複数学科・専攻の合否判定

出願期間

2024年1月5日(金)～1月16日(火) (消印有効) ※出願登録は12月18日(月)午前9時から可能です。

試験日・試験会場

2024年2月4日(日) 地区Ⅲ※ 本学・富山・岐阜・浜松・豊橋・津
 2024年2月5日(月) 地区Ⅲ※ 本学・富山・岐阜・浜松・豊橋・津
 ※詳細は「16」試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査(調査書)及び学力検査で行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。

試験内容

学部	教科数	合計点
工	3教科	300点
経営情報		300点
国際関係		300点
人文		300点 (英語英米文化学科は350点)
応用生物		300点
生命健康科		300点
現代教育		300点
理工		300点

1. 解答方式はマークセンス方式の3教科型試験です。
2. 必須科目 工学部・理工学部…数学② 国際関係学部…英語 人文学部 英語英米文化学科…英語
 上記を除く学部・学科(専攻)には必須科目を設けません。
3. 全学部とも必須科目を含む3教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
 なお、4教科とも受験した場合は、必須科目を含む高得点の3教科で合否判定を行います。

BM 方式 高得点2教科型入試 1日の入試結果で複数学科・専攻の合否判定

出願期間

2024年1月5日(金)～1月16日(火) (消印有効) ※出願登録は12月18日(月)午前9時から可能です。

試験日・試験会場

2024年2月4日(日) 地区Ⅲ※ 本学・富山・岐阜・浜松・豊橋・津
 2024年2月5日(月) 地区Ⅲ※ 本学・富山・岐阜・浜松・豊橋・津
 ※詳細は「16」試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査(調査書)及び学力検査で行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。

試験内容

学部	教科数	合計点
工	2教科	200点
経営情報		200点
国際関係		200点
人文		200点 (英語英米文化学科は250点)
応用生物		200点
生命健康科		200点
現代教育		200点
理工		200点

1. 解答方式はマークセンス方式の2教科型試験です。
2. 必須科目 工学部・理工学部…数学② 国際関係学部…英語 人文学部 英語英米文化学科…英語
 上記を除く学部・学科(専攻)には必須科目を設けません。
3. 全学部とも必須科目を含む2教科以上を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
 なお、3教科以上受験した場合は、必須科目を含む高得点の2教科で合否判定を行います。

試験科目・配点

※科目略記号は **4** 入試科目について を参照してください。

AM方式・BM方式					
学部	教科	科目（選択科目は試験会場で選択）		配点	試験時間
工 ・ 理 工	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学②」 (必須科目)		100点	60分
経 営 情 報	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」 から 1 科目選択		100点	60分
	公 民	「政治・経済」			
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
国 際 関 係 ・ 人 文	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	日本語日本文化学科	「英語」	100点	60分
		心 理 学 科			
		歴 史 地 理 学 科			
		メディア情報社会学科			
		国 際 学 科	「英語」 (必須科目)		
		英 語 英 米 文 化 学 科	「英語」 (必須科目)	150点	
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」 から 1 科目選択		100点	60分
公 民	「政治・経済」				
数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分	
応 用 生 物	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
生 命 健 康 科	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	理 科	「物理①」「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」 から 1 科目選択		100点	60分
	数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分
現 代 教 育	国 語	「国語」		100点	60分
	外 国 語	「英語」		100点	60分
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」「地理B」			
	公 民	「政治・経済」 から 1 科目選択		100点	60分
	理 科	「物理①」「化学①」「生物①」「物理②」「化学②」			
数 学	「数学①」「数学②」 から 1 科目選択		100点	60分	

時間割

		10:00		11:30		13:30		15:00	
全学部		国 語		外 国 語		地 歴 公 民 理 科		数 学	
			11:00		12:30		14:30		16:00

集合時間は、1時限目は9時40分、2時限目は11時20分、3時限目は13時20分、4時限目は14時50分とします。(1時限目を受験しない者の2時限目の試験室への入室開始時間は11時15分とし、2時限目を受験しない者の3時限目の入室開始時間は13時、3時限目を受験しない者の4時限目の入室開始時間は14時45分とします)。

7.後期入試 同一グループ内の第二志望学科（専攻）に出願可

出願期間

2024年2月16日(金)～2月25日(日) (消印有効) ※出願登録は初日午前9時から可能です。

試験日・試験会場

2024年3月9日(土) 地区IV※ 本学・岐阜・浜松・豊橋・津
 ※詳細は「16」試験会場を確認してください。

選抜方法

書類審査（調査書）及び学力検査で行います。
 ※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。
 合否判定には利用しません。

試験内容

1. 解答方式はマークセンス方式の2教科選択試験です。
2. 必須科目 工学部・理工学部…数学② 国際関係学部…英語 人文学部 英語英米文化学科…英語
 上記を除く学部・学科（専攻）には必須科目を設けません。
 なお、国際学科・英語英米文化学科は第1志望・第2志望にかかわらず「英語」を必須とします。
3. 試験は2教科同時に120分で行います。
4. 全学部とも必須科目を含む2教科を受験しない場合は、合否判定の対象になりません。
5. 第1志望学科に合格した場合、第2志望学科の合否判定は行いません。

試験科目・配点

※科目略記号は「4」入試科目についてを参照してください。

後期入試							
学部	教科	科目（選択科目は試験会場で選択）			配点	合計点	試験時間
理工工	数 学	「数学②」			必須科目	100点	200点 120分
	国 語	「国語」			から1科目選択	100点	
	外 国 語	「英語」				100点	
経 営 情 報 学 部 国 際 関 係 学 部 人 文 学 部	国 語	「国語」			から2教科 2科目選択	100点	200点 120分
	数 学	「数学①」				100点	
	外 国 語	「英語」（国際学科、英語英米文化学科は必須科目）				100点	
現 代 文 学 教 育 学 部	国 語	「国語」			から2教科 2科目選択	100点	200点 120分
	数 学	「数学①」				100点	
	外 国 語	「英語」（英語英米文化学科は必須科目）				100点	
応 用 生 物 学 部 生 命 健 康 学 部	国 語	「国語」			から2教科 2科目選択	100点	200点 120分
	数 学	「数学①」				100点	
	外 国 語	「英語」				100点	

時間割

9:40	10:00	
全学部	集合	学力検査

集合時間は、9時40分です。 12:00

第2志望学科について

同一グループ内から第2志望学科（専攻）が選択できます。

グループ	学科（専攻）
1 工学部 理工学部	機械工学科、都市建設工学科、建築学科、応用化学科、情報工学科、電気電子システム工学科 数理・物理サイエンス学科、AIロボティクス学科、宇宙航空学科
2 経営情報学部 国際関係学部 人文学部	経営総合学科 国際学科 日本語日本文化学科、英語英米文化学科、心理学科、歴史地理学科、メディア情報社会学科
3 人文学部 現代教育学部	日本語日本文化学科、英語英米文化学科、心理学科、歴史地理学科、メディア情報社会学科 幼児教育学科、現代教育専攻、中等教育国語数学専攻
4 応用生物学部 生命健康科学部	応用生物化学科、環境生物科学科、食品栄養科学専攻、管理栄養科学専攻 生命医科学科、保健看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科、スポーツ保健医療学科

複数入試区分への出願について

後期入試、共通テスト利用入試（後期）は一度にまとめて出願できます。

今年度本学入試を受験した方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、後期入試に出願することができます（専願入試の合格者は同一学科・専攻に限る）。また、今年度の本学入試を受験した方（出願期間初日までに受験票を持っている方※）は、同一のCUhub アカウントから出願することで、**後期入試の入学検定料 30,000 円を 25,000 円に割引**します。※特別選抜入試・編入学試験・大学院入試・共通テスト利用入試を除く。

8. 共通テスト利用入試 学科併願・教科型併願が可能**2 教科型、3 教科型、5 教科型****出願期間**

前期 2024 年 1 月 5 日(金)～1 月 18 日(木) (消印有効) ※出願登録は 2023 年 12 月 18 日(月)午前 9 時から可能です。

後期 2024 年 2 月 16 日(金)～2 月 25 日(日) (消印有効) ※出願登録は初日午前 9 時から可能です。

選抜方法

書類審査（調査書）及び 2024（令和 6）年度大学入学共通テストの成績に基づいて行います。

本学個別の試験は課しません。

※「主体性・多様性・協働性」に関する評価については、「調査書」を入学後の指導上の参考資料として利用します。

合否判定には利用しません。

試験内容

- 指定された教科・科目を複数受験した場合は、必須科目を含む高得点の教科・科目を合否判定に使用します。
なお、5 教科型試験の工学部・応用生物学部・生命健康科学部・現代教育学部・理工学部は、「地理歴史」と「公民」の教科を合わせて 1 教科として取り扱います。
- 必須教科** 工学部・理工学部…**数学** 国際関係学部…**外国語** 人文学部 **英語英米文化学科…外国語**
- 大学入学共通テスト「外国語」で、「英語」を選択した場合、全学部ともリスニングテストを課します。リーディングとリスニングの配点比率は「4：1」とし、リーディングは 80 点満点に、リスニングは 20 点満点にそれぞれ換算し、合計 100 点満点として合否判定に使用します。
- 前年度以前の大学入学共通テストの成績は使用しません。

今年度本学入試を受験した方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、共通テスト利用入試に出願することができます（専願入試の合格者は同一学科・専攻に限る）。

前期入試 A 方式または後期入試との同時出願について

前期入試 A 方式（B 方式・共通テストプラス方式）と同時に出願した場合、共通テスト利用入試（前期）1 出願目の入学検定料 15,000 円を 5,000 円に、2 出願目以降の入学検定料 10,000 円を 5,000 円に割引します。

また、後期入試と同時に同時に出願した場合、共通テスト利用入試（後期）1 出願目の入学検定料 15,000 円を 5,000 円に、2 出願目以降の入学検定料 10,000 円を 5,000 円に割引します。

試験科目・配点

2教科型試験 指定の教科・科目から2教科2科目の合計点で合否判定を行います。

共通テスト利用入試（前期・後期） 2教科型					
学部	教科	科目	配点	合計	
工 ・ 理 工	数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」	から2教科 2科目選択 (数学必須)	100点	200点
	理 科	「物理」、「化学」		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
経 営 情 報	国 語	「国語」（近代以降の文章）	から2教科 2科目選択	100点	200点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
国 際 関 係 ・ 人 文	国 語	「国語」（近代以降の文章）	から2教科 2科目選択 (国際学科・英語英米 文化学科は外国語教科 必須)	100点	200点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
応 用 生 物 科	国 語	「国語」（近代以降の文章）	から2教科 2科目選択	100点	200点
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
現 代 教 育	国 語	「国語」（近代以降の文章）	から2教科 2科目選択	100点	200点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	

試験科目・配点

3教科型試験 指定の教科・科目から3教科3科目の合計点で合否判定を行います。

共通テスト利用入試（前期・後期） 3教科型					
学部	教科	科目	配点	合計	
工 ・ 理 工	数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」	3教科 3科目選択	100点	300点
	理 科	「物理」、「化学」		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
経 営 情 報	国 語	「国語」（近代以降の文章）	3教科 3科目選択	100点	300点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
国 際 関 係 ・ 人 文	国 語	「国語」（近代以降の文章）	3教科 3科目選択 (国際学科・英語英米 文化学科は外国語教科 必須)	100点	300点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
応 用 生 物 科	国 語	「国語」（近代以降の文章）	3教科 3科目選択	100点	300点
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	
現 代 教 育	国 語	「国語」（近代以降の文章）	3教科 3科目選択	100点	300点
	地 理 歴 史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」		100点	
	公 民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」		100点	
	数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」		100点	
	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目		100点	
	外 国 語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」		100点	

試験科目・配点

5教科型試験 指定の教科・科目から5教科5科目の合計点で合否判定を行います。

共通テスト利用入試（前期・後期） 5教科型				
学部	教科	科目	配点	合計
工・理・工	国語	「国語」（近代以降の文章）	100点	500点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100点	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」	100点	
	理科	「物理」、「化学」	100点	
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	100点	
経営情報	国語	「国語」（近代以降の文章）	100点	500点
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	100点	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100点	
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	100点	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	100点	
国際関係・人文	国語	「国語」（近代以降の文章）	100点	500点
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	100点	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100点	
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」	100点	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	100点	
応用生物	国語	「国語」（近代以降の文章）	100点	500点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100点	
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」	100点	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	100点	
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	100点	
現代教育	国語	「国語」（近代以降の文章）	100点	500点
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」	100点	
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」	100点	
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目	100点	
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	100点	

9. 出願書類

入試制度ごとに必要な出願書類は●印で表しています。

入試制度・方式 \ 出願書類	1.出願確認票	2.写真データ	3.大学入学共通テスト 成績請求票	4.調査書
特別奨学生入試	●※1	●	—	●
前期入試A方式・B方式 (共通テストプラス方式)	●	●	●※2	●
前期入試AM方式・BM方式	●	●	—	●
共通テスト利用入試 (前期・後期)	●	●	●	●
後期入試	●	●	—	●

※1 志望理由 (200 字以内) の入力も含む。特別奨学生入試志願者のみ入力必須。

※2 共通テストプラス方式に出願しない場合は不要です。

1. 出願確認票・志望理由※

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイダンス」へ進み、「CUhub」マイページのアカウントを作成します。「STEP 3 出願登録」から画面の指示に従って入力後、「STEP 4 出願確認票の出力」からプリントアウトし、提出してください。なお、共通テスト利用入試 (前期・後期) を出願の方のみ出願確認票が2枚出力されますので、すべて提出してください。

※特別奨学生入試の志願者は、出願登録画面から志望理由の入力 (200 字以内) が必須です。入力した志望理由は出願確認票に表示されます。入力前に任意の用紙 (ノート等) に書き留めるなど準備しておくことをお勧めします。

2. 写真データ

「STEP 2 基本情報の登録」から画面の指示に従って本人写真データをアップロードしてください。出願時に登録したデータは入学後の学生証写真としても使用しますので、必ず私服で撮影してください (高等学校等の制服で撮影されたものは使用できませんので、あらためて撮影してください)。「背景の写り込み」「トリミングの不備」「手振れによる不鮮明」など、受験票及び入学後の学生証の写真として利用できないと判断した場合も再撮影、再アップロードをお願いしております。写真店や写真データ取得機能付きの証明写真機、証明写真アプリ等の利用を推奨いたします。

3. 大学入学共通テスト成績請求票

「共通テストプラス方式」と「共通テスト利用入試 (前期・後期)」に出願する際は、必ず「大学入学共通テスト成績請求票 (私立大学・公私立短期大学用)」を「出願確認票」の指定箇所に貼付してください。貼り忘れた場合は、合否判定を受けることができなくなりますので、ご注意ください。

4. 調査書

学校長が出願前3カ月以内に作成し、厳封されたものを提出してください。

学校関係者のみなさまへ

調査書の作成に際し、下記のとおりお願い申し上げます。

1. 厳封された調査書であること。
2. 出願期間初日から3カ月以内の発行日付があること。
3. 卒業 (見込み) 年月の記載があること (例: 20XX 年3月卒業見込み)。
4. 証明の欄に校長印・記載責任者印があるもの。
記載責任者氏名は、実際に調査書を作成するにあたって記載した学級担任等の氏名を記載してください。
5. 高等学校全期間の成績が記載されたもの。
卒業見込み者は第3学年1学期または前期までの成績が記載されたもの (出願時に最新のもの)。
第3学年1学期または前期までの成績が出せない場合は履修中科目を記入してください。
①3学期制: 第2学年3学期までの成績と第3学年の履修科目(注)が記載されたもの。
②2学期制: 第2学年後期までの成績と第3学年の履修科目(注)が記載されたもの。

(注) 第3学年の履修科目の記入例

第3学年の成績記入欄に「*」等の記号を付した上、備考欄に「第3学年1学期または前期までの成績が出せないため、第3学年の履修科目に「*」を記載済み」といった一文を記入してください (手書き可)。「*」等の記号を付けられない場合、第3学年の履修科目を記入した別紙を添付してください。

日本国内で2つ以上の高校に在籍していた場合

調査書に加え、前籍校の証明書を以下1～3いずれかの方法で提出してください。

1. 厳封された前籍校の調査書(または成績証明書※)を提出
2. 編入・転入した高校が保管する前籍校の成績証明書のコピーに、学校長の署名と公印で原本と相違ないことの証明を受け添付
3. 編入・転入前の成績を転記した場合は、調査書に「前籍校の在籍期間」「〇〇高校からの転記」と明記
※在籍期間が短く調査書や成績証明書が発行されない場合は、その旨を記した高校作成のメモと「在籍／在学証明書」を提出してください。

海外の高等学校から編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合

編入前に在籍していた高等学校や留学先の高等学校の発行する「成績証明書」を必ず調査書に添付してください(あわせて、「成績証明書」の日本語による翻訳も添付してください)。証明書がコピーの場合には、学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けてください(ただし、成績を読み替えた場合は、前籍校／留学先の成績証明書は不要です)。単位認定を受けない海外留学の場合も提出不要です。

海外の高等学校を卒業した場合

卒業した高等学校の発行する「卒業証明書」と「成績証明書」を提出してください。あわせて、「卒業証明書」と「成績証明書」の日本語による翻訳も添付してください。

高等学校卒業から長期経過しているため調査書が発行されない場合

卒業から長期間経過しているため調査書が発行されない場合は高等学校が作成した以下の3点が必要です。「2.単位取得証明書」を発行できない場合は、その旨を追記した1と3の2点を提出してください。

1. 調査書発行不可の理由書
2. 単位取得証明書
3. 卒業(修了)証明書

※旧姓(名)の証明書を使用する場合は、「婚姻により(旧姓)から(現姓)になった」などのように、姓(名)が変わった理由を証明書の余白に記載すること。

高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格(見込)者の方

以下1～2いずれかの証明書を提出してください。

1. 合格成績証明書
2. 合格見込成績証明書 ※合格見込者のみ対象

調査書の必要数について

前期入試(A方式、B方式、AM方式、BM方式、共通テストプラス方式)、共通テスト利用入試(前期)は同時に出願することができます。この場合、出願確認票は1セットとなり、必要な調査書は1通となります。

また、後期入試と共通テスト利用入試(後期)も同時に出願できます。この場合も同様に1通の調査書で出願できます。

出願書類の確認について

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 [0568-22-7220](tel:0568-22-7220)、[0568-22-7223](tel:0568-22-7223)、[0568-22-7244](tel:0568-22-7244) からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。

入学検定料

入試制度・方式	割引後	割引前	2出願目以降の入学検定料
特別奨学生入試	30,000円 ※1	(35,000円)	なし（学科・専攻の併願はできません）
前期入試 A方式（B方式・共通テストプラス方式）	25,000円 ※1	(30,000円)	複数日受験 1日追加するごとに +5,000円 （割引前10,000円）※2 希望者は共通テストプラス方式に追加出願 同日に学科・専攻の併願はできません
前期入試 AM方式・BM方式	25,000円 ※1	(30,000円)	複数日受験 1日追加するごとに +5,000円 （割引前10,000円）※2 複数学科受験 1学科追加するごとに +5,000円 （割引前10,000円）※2
共通テスト利用入試（前期）	5,000円 ※2	(15,000円)	複数学科/教科型受験 1学科/教科型追加するごとに +5,000円 （割引前10,000円）※2
共通テスト利用入試（後期）	5,000円 ※3	(15,000円)	複数学科/教科型受験 1学科/教科型追加するごとに +5,000円 （割引前10,000円）※3
後期入試	25,000円 ※1	(30,000円)	同一グループ内から第2志望学科へ出願可（ 無料 ）

※1 出願期間初日までにすでに同年度の本学入試の受験票を持っている方は割引（ただし、特別選抜入試、編入学試験、大学院入試、共通テスト利用入試は除く）

※2 前期入試 A方式と同時に出願した場合割引

※3 後期入試と同時に出願した場合割引

〔注意〕

1. 入学検定料の他に、インターネット出願に関するサービス利用料が一律 1,100 円がかかります。
2. 併願時（2 出願目以降）の入学検定料の割引は出願確認票を 1 枚にまとめる（一度に申込む）ことで適用されます。
3. いずれの入試制度・方式も、同一の CUhub アカウントから 1 つの出願確認票にまとめて出願した場合、入学検定料の割引を適用します。

複数入試区分・方式への出願について

A方式（B方式・共通テストプラス方式）と AM方式、BM方式、共通テスト利用入試（前期）は同時に出願できます。A方式と同時に同一の CUhub アカウントから 1 つの出願確認票にまとめて出願した場合、AM方式または BM方式 1 出願目の入学検定料 30,000 円を 5,000 円に、2 出願目以降の入学検定料 10,000 円を 5,000 円に割引します。

同様に A方式と同時に同一の CUhub アカウントから 1 つの出願確認票にまとめて出願した場合、共通テスト利用入試（前期）1 出願目の入学検定料 15,000 円を 5,000 円に、2 出願目以降の入学検定料 10,000 円を 5,000 円に割引します。

入試区分・方式	1出願目	同時出願の2出願目		
		①A・B・共通テストプラス	②AMまたはBM	③共通テスト利用（前期）
①A・B・共通テストプラス	30,000円	5,000円 以降追加する毎に +5,000円	5,000円 以降追加する毎に +5,000円	5,000円 以降追加する毎に +5,000円
②AMまたはBM	30,000円	—	10,000円 以降追加する毎に +10,000円	15,000円 以降追加する毎に +10,000円
③共通テスト利用（前期）	15,000円	—	—	10,000円 以降追加する毎に +10,000円

また、後期入試と共通テスト利用入試（後期）も同時に出願できます。後期入試と同時に同一の CUhub アカウントから 1 つの出願確認票にまとめて出願した場合、共通テスト利用入試（後期）1 出願目の入学検定料 15,000 円を 5,000 円に、2 出願目以降の入学検定料 10,000 円を 5,000 円に割引します。

入試区分・方式	1出願目	同時出願の2出願目	
		①後期	②共通テスト利用（後期）
①後期	30,000円	— 第2志望まで出願可	5,000円 以降追加する毎に +5,000円
②共通テスト利用（後期）	15,000円	—	10,000円 以降追加する毎に +10,000円

10.CUhub (シーユーハブ) マイページ

アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。
URL : <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>

ガイダンスページ



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。

- ①メールアドレスを入力。
- ②1~2分後に届く確認メールに記載のURLをクリック。
※上記のメールアドレスに利用者登録を完了させるメールを配信しますので、ドメイン指定受信を設定されている方は [@52school.com] を受信できるように事前に設定してください。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダ内に振り分けられていないか確認してください。
- ③パスワードを設定します。
- ④再度マイページTOP画面に戻り、作成したアカウント(メールアドレス・パスワード)でログインしてください。
※アカウント情報(メールアドレス・パスワード)を忘れないようにしてください。

マイページ TOP

メールアドレス登録 (初回のみ)

パスワード登録 (初回のみ)

マイページメニュー

マイページでは、出願、受験票の発行、合否結果の閲覧、入学手続を行うことができます。以下 STEP1～4 の手順に従って手続を進めてください。

STEP1 ガイダンス閲覧・確認

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

STEP2 基本情報の登録と確認

住所・氏名・出身高等学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願受付期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真（制服不可）をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。アップロードする前に STEP1 で写真に必要な要件を確認してください。

STEP3 出願登録

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。出願登録は各入試の出願期間内に行うことができます。出願期間は「2」入試日程に掲載しています。内容をよく確認した上で登録を進めてください。

STEP4 出願確認・受験票出力

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、必要書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

合否結果

合否結果を確認することができます。

入学手続

合格通知書、入学金・授業料等の振込用紙の出力ができます。入学手続書類もこちらから作成します。



11.インターネット出願

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイドンス」に進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、「CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。画面イメージは **10** CUhub マイページ で確認してください。

STEP2 基本情報を入力

氏名、住所、連絡先、高等学校等の基本情報、写真データを登録します。

STEP3 出願登録

入試方式、志願学科・専攻、志願者情報、アンケート等を登録し、「コンビニエンスストア」、「Pay-easy〈ペイジー〉対応銀行ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」、「PayPay」いずれかの方法で入学検定料を支払います。

STEP4 出願確認票の出力

出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒（市販の角2封筒）は各自で用意してください。

必要書類を不備なく、すべて郵送することで出願が完了します。入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

インターネット出願のよくある質問

入学検定料納入後に入力ミスに気付いた等、よくある質問については、以下インターネット出願ガイドンス「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



出願登録画面の操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイドンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

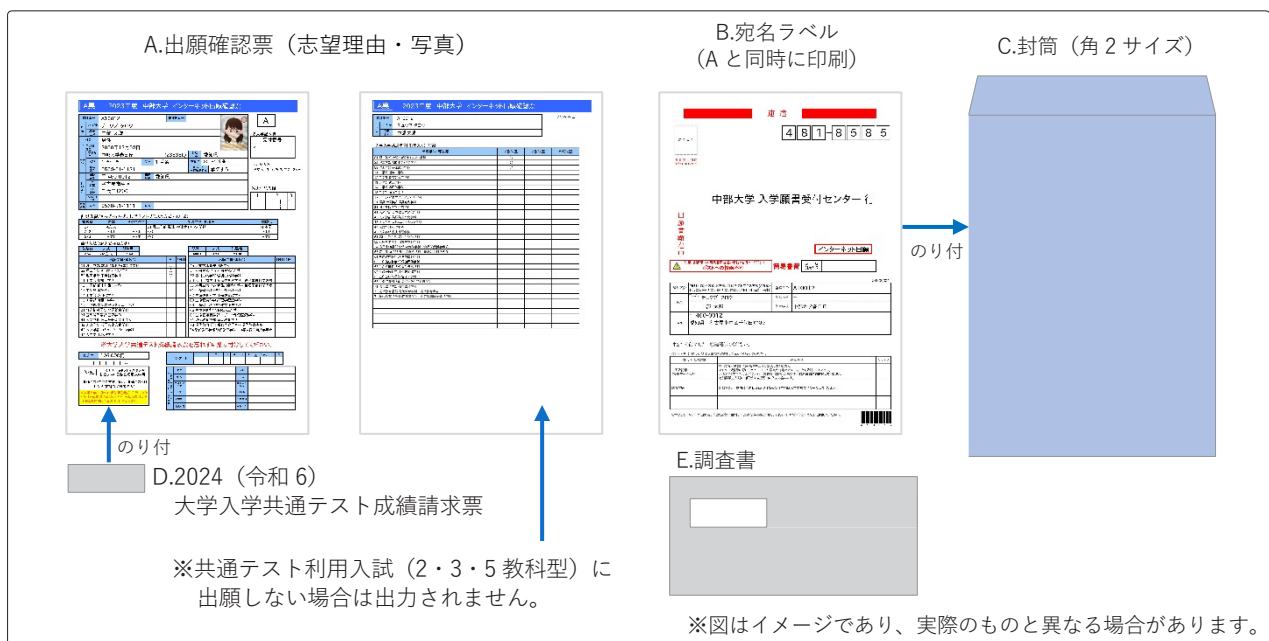
サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中（2023年12月29日～2024年1月3日を除く）

○時間 午前9時～午後8時

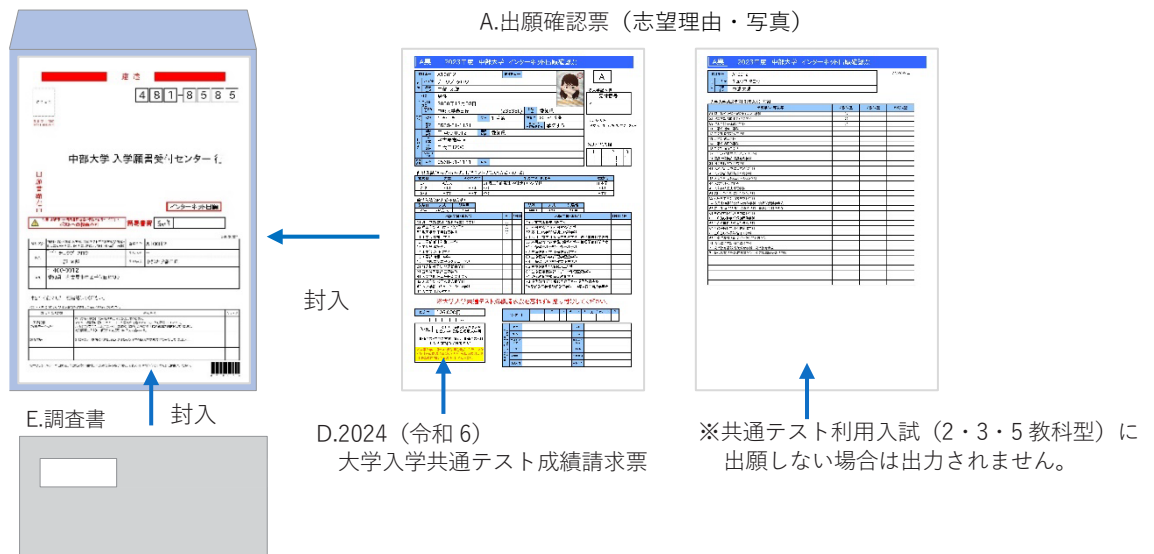
1.書類一覧

- A. 出願確認票（志望理由・写真）(A4)・・・志望理由は特別奨学生入試出願の方のみ。
共通テスト利用入試志願者のみ2枚目も出力。
- B. 宛名ラベル (A4)・・・Aと同時に印刷。
- C. 封筒（角2サイズ）・・・市販の角2封筒（各自で用意ください）。
- D. 2024（令和6）大学入学共通テスト成績請求票・・・大学入学共通テストの受験票に同封のもの。
共通テストプラス方式・共通テスト利用入試へ出願しない方は不要です。
- E. 調査書・・・高等学校で発行。
出願期間初日から3カ月以内の発行日付があること（厳封）。



2. 書類を封入

「封筒 (C)」に「宛名ラベル (B)」をのり付けし、「2024 (令和 6) 大学入学共通テスト成績請求票 (D)」をのり付けした「出願確認票 (A)」と「調査書 (E)」を封入します。「出願確認票 (A)」は折り曲げて封入してもかまいません。なお、共通テストプラス方式・共通テスト利用入試に申し込まない方は「2024 (令和 6) 大学入学共通テスト成績請求票 (D)」は不要です。



3. 郵送

12 出願上の注意 をよく読んだ上で、各入試の出願期間内に、中部大学入学願書受付センターまで郵送 (速達・簡易書留) してください。

必要書類を不備なく、すべて郵送することで出願が完了します。入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

12.出願上の注意

1. 入学検定料の他に、インターネット出願に関するサービス利用料が一律 1,100 円がかかります。
2. 入学検定料払込期限は、インターネット入力を行った翌日の 23 時 59 分 (締切日は当日の 23 時 59 分) までです。期限を過ぎると、払込できません。この場合、期限を過ぎたものはそのままにし、新たに出願登録を行ってください。
3. 出願期間の最終日は、入学検定料払込と郵送手続きの時間を考慮してインターネットによる出願登録を 17 時までとします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取扱時間を確認し、最終日当日の消印に間に合うよう、余裕を持って払込と郵送を行ってください。
4. 締切時刻間際になりますとアクセスが集中し、登録できない状態になることがあります。時間に余裕を持ってお早めに出願登録を行ってください。
5. 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
6. 出願後の志望学科 (専攻) 及び入試方式 (入試日を含む) の変更は一切認めません。
7. 地区試験会場は席数に限りがあります。出願登録画面で、希望の試験会場が選択できない場合は、選択可能な別の試験会場を選択してください。
8. いったん納入された入学検定料及び出願書類等は、返還しません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は **21** 入学検定料の返還 を参照してください。
9. 出願書類に虚偽の記載があった場合、また、当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
10. 受験上の配慮を希望される場合は、各入試の出願に先立って、出願期間初日の 6 週間前までに、必ず中部大学入学センターへ相談してください。詳しくは、**13** 受験上の配慮申請について をご確認ください。なお、申請前に中部大学のキャンパス (設置場所、環境等) を見学されることをお勧めします。
11. 書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。電話番号 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244 からの着信を見逃さないようにしてください。確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。
12. 特別奨学生入試では、高等学校卒業程度認定試験合格 (見込) 者、大学入学資格検定合格者、外国の学校卒業業者等、調査書の発行ができない者は、試験終了後面接を行いますので、試験会場は「本学」に限ります。
13. 個別の入学資格審査を必要とする場合は、出願期間初日の 2 週間前までに中部大学入学センターへ申請してください。なお、大学入学共通テストを利用する者で個別の入学資格審査を必要とする場合は、大学入学共通テストの出願期間初日の 2 週間前までに中部大学入学センターへ申請してください。期日を過ぎた審査、問い合わせは一切受け付けません。
14. 本学では、合否結果は各学校の進学指導上重要な情報と考え、志願者の承諾をもとに出身学校へ情報提供を行っています。各出身学校長には、「進学指導への活用」に限定した取り扱いをお願いしています。なお、合否結果の通知・情報提供を承諾しない方は、インターネット出願登録画面で登録を解除してください。通知承諾の可否は合否に一切関係しません。

13. 受験上の配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、**出願期間初日の6週間前までに**事前申請を行ってください。複数入試の受験を希望する場合は、初回入試の申請期日までに申請してください。申請に間に合わない場合は、当該入試での配慮提供（支援）ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の要否や内容が合否に影響を与えることはありません。急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入学センターまでご連絡ください。**修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。**

■申請の流れ

1. 電話による申し込み

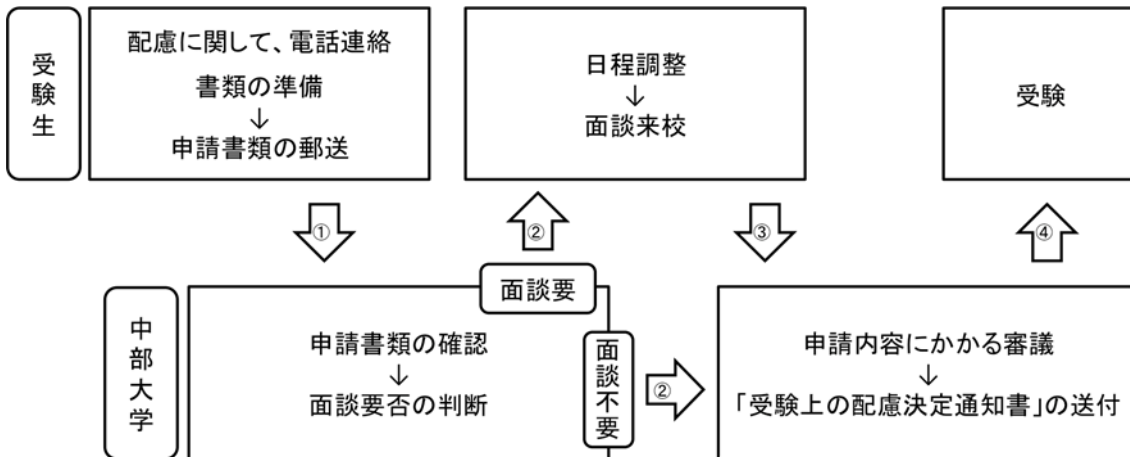
- ・ **出願期間初日の6週間前までに**本学入学センターへ電話にてお問い合わせのうえ、申請書類を提出してください。
- ・ 必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

2. 申請書類の提出

下記①～④の書類を本学入学センターへ提出してください。

- ①受験上の配慮申請書（本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入）
- ②医師の診断書のコピー（現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの）
- ③大学入学共通テスト「受験上の配慮事項審査結果通知書」のコピー（該当者のみ）
- ④障害者手帳等の写し（該当者のみ）

【申請のフロー】



3. 配慮事項決定通知について

- ・ 提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、受験上の配慮決定通知書を送付いたします。入試当日は決定通知書を持参してください。
- ・ 期日を過ぎて申請した場合、入試当日に配慮できないことがあります。可能な限り早めに相談してください。

お問い合わせおよび申請書類の送付先

〒487-8501
愛知県春日井市松本町 1200
中部大学入学センター「受験上の配慮申請担当」宛
TEL. 0568-51-4715 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

修学上の配慮に関するお問い合わせ

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。その後、受験上の配慮申請を行ってください。
中部大学 学生サポートセンター
TEL.0568-51-4478 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

14. 受験票

受験票は「CUhub」マイページから「STEP4 出願確認・受験票出力」に進み、ダウンロード・プリントアウト（A4・モノクロ可）し、入試当日持参してください。受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。

必ずA4で印刷してください（モノクロ可）。

※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。



受験票発行開始日

入試制度	日時
特別奨学生入試	12月13日（水）午前9時
前期入試 A方式・B方式・共通テストプラス方式 AM方式・BM方式	1月26日（金）午前9時
共通テスト利用入試	前期
	後期
後期入試	3月5日（火）午前9時

受験票記載内容のお問い合わせについて

入試制度・志望学科（専攻）が出願時に入力したものと違う場合、至急中部大学入学センターに連絡してください。氏名の入力ミスは、入試当日「仮受験票交付所」に申し出てください。なお、地区試験会場で受験される方は、試験監督者に申し出てください。

※コンピュータ処理上表記できない文字（氏名等）は、常用漢字またはカタカナに置き換えます。受験には差し支えありません。

お問い合わせ先 中部大学入学センター事務部 入試事務課 TEL.0568-51-4715

受験票発行・操作に関するよくある質問

以下よりインターネット出願ガイダンスの「よくある質問」をご参照ください。
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120) 752-257

○期間 出願期間中（2023年12月29日～2024年1月3日を除く）

○時間 午前9時～午後8時

15. 試験当日の注意

1. 持参するもの	<p>1. 受験票 プリントアウト（A4モノクロ可）したものを持参してください。紛失又は忘れた場合、「仮受験票交付所」に申し出て、仮受験票発行の手続きをしてください。試験室の入退室時には、受験票を携帯してください。詳細は「14.受験票」を参照してください。</p> <p>2. 筆記用具 HBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム ※下敷き等の使用は認めません。</p> <p>3. 時計 時計以外の機能がついたものの使用は認めません。</p> <p>4. 昼食 昼食をとる場合は持参のうえ、自席でとってください。</p>
2. 試験室の入退室	<p>1. 本学試験会場は8時30分、地区試験会場は9時に開場します。</p> <p>2. 本学試験会場受験者は入試前日までに本学ウェブサイトにて試験室を確認してください。</p> <p>3. 携帯電話等の使用は認めません。試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。</p> <p>4. 机に示した受験番号を確認の上、集合時間までに指定の場所に着席してください。</p> <p>5. 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以降の遅刻は欠席者とみなし受験できません。公共交通機関の遅延等による場合は、TEL.0568-51-1111（中部大学代表番号）に連絡し指示を受けてください。</p> <p>6. 試験時間中は、試験終了まで、途中退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。</p>
3. 試験時間中の注意	<p>1. 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、監督者の指示に従ってください。</p> <p>2. 携帯電話等は試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチ）、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器や、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すると不正行為となります。 ※ただし、使用が認められている場合を除く。イヤホンは装着していれば使用しているものとします。 不正行為を行った場合、当該年度全ての入試の成績を無効とします。また、納入済の入学検定料、入学料は返還いたしません。</p> <p>3. 解答用紙に、受験番号・氏名及び選択科目等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。また、マークシートは汚したり、折り曲げたりしないでください。</p>
4. 受験上の配慮について	<p>病気・ケガ等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、「13.受験上の配慮申請について」を確認してください。なお、本学試験会場には保健管理室がありますが、地区試験会場にはありません（地区試験会場では受験上の配慮に限りがあります）。</p>
5. 受験できない者	<p>学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し、試験当日までに出席停止期間を経っていない場合は、他の受験者や監督者等に感染のおそれがあるため受験することができません。 ※該当者は、試験当日午前9時30分までに入学センターへ連絡してください。</p>
6. その他	<p>1. 降雪等による交通機関への影響に十分注意し、遅刻しないようにしてください。</p> <p>2. 災害等不測の事態が発生したことにより、入試の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトでも周知しますので注意してください。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。</p>

入試における不正行為の取り扱いについて

中部大学では入試における公平性・公正性を確保するため、不正行為について厳正に対処します。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。

また、当該年度全ての入試において、成績を無効とします。

不正行為の範囲と対応の詳細は、以下ウェブサイトよりご確認ください。

<https://www.chubu.ac.jp/admissions/entrance-exams/notice/>



16. 試験会場

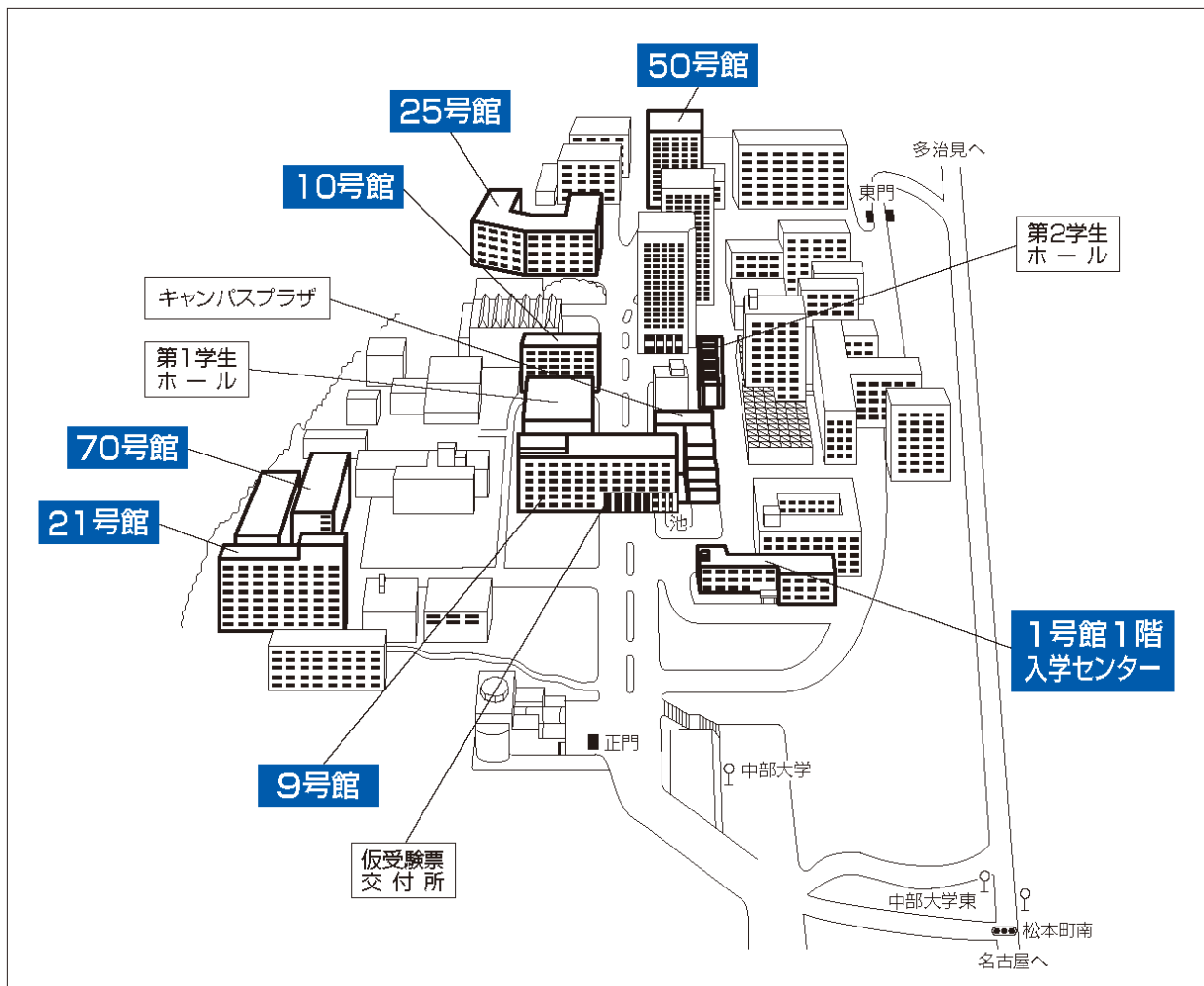
1. 本学試験会場

中部大学 〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 TEL.0568-51-1111 (代表)

1. 試験室の詳細・集合場所は、各入試の前日までに本学ウェブサイトでお知らせします。
2. 受験生・付添者は、キャンパスプラザを控室として利用できます。

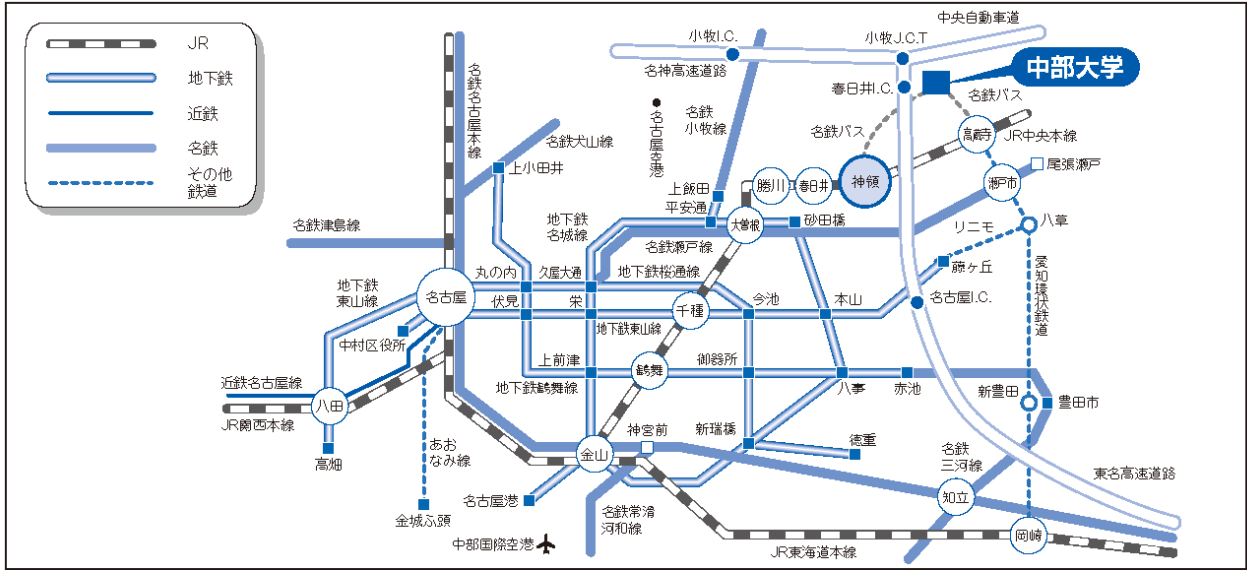
本学までの交通機関

1. JR 中央本線「神領」^{じんりょう} 駅下車
 - ①普通列車に乗車してください。快速列車は停車しないので注意してください。
 - ②神領駅北口から名鉄バス中部大学線（片道 220 円）を利用してください。所要時間は約 10 分です。
なお、利用が集中する時間帯は適宜臨時便を追加して、約 10 分間隔で運行する予定です。
2. JR 中央本線「高蔵寺」^{こうぞうじ} 駅下車
高蔵寺駅から名鉄バス「中部大学」行をご利用ください。発着数が少ないため、ご利用の際は時刻表を十分確認してください。
3. 自家用車
大学構内の駐車場が利用できますので正門から入場してください（入試当日大学構内は一方通行となります）。例年、路上駐車や近隣店舗への駐車が多く、周辺地域の方々から苦情が寄せられます。近隣の皆様への多大な迷惑となりますので、マナーを守ってご来校いただきますようお願い申し上げます。

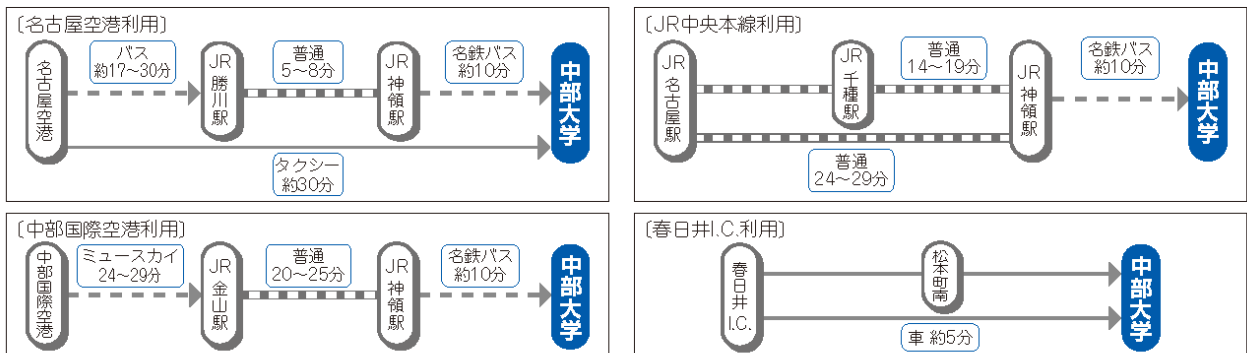


試験会場の下見について

試験会場の下見は入試前日の午後に行ってください。ただし、入試実施日には下見できませんので、連続した入試日程初日の前日午後に確認してください。なお、試験室には入れません。建物の外観確認に留めてください。同様に、地区試験会場の下見も外観確認に留めてください。



主要交通所要時間



2. 地区試験会場

地区Ⅰ：特別奨学生入試 12月17日

会場	会場名	住所
東京	東京セミナー学院	〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-4-6
富山	富山県中小企業研修センター	〒930-0855 富山市赤江町1-7
金沢	金沢医療技術専門学校	〒920-0849 金沢市堀川新町7-1
飯田	飯田コアカレッジ	〒395-0823 飯田市松尾明7591
岐阜	じゅうろくプラザ	〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11
高山	高山市民文化会館	〒506-0053 高山市昭和町1-188-1
静岡	静岡学園早慶セミナー	〒422-8076 静岡市駿河区八幡1-1-1
浜松	えんてつホール	〒430-8655 浜松市中区旭町12-1 遠鉄百貨店新館8F
豊橋	豊橋商工会議所	〒440-8508 豊橋市花田町字石塚42-1
津	三重県教育文化会館	〒514-0003 津市桜橋2-142
岡山	岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山市北区昭和町8-10

地区Ⅱ：前期入試A方式・B方式 2月1日、2月2日

会場	会場名	住所
東京	東京セミナー学院	〒171-0021 東京都豊島区西池袋5-4-6
金沢	金沢医療技術専門学校	〒920-0849 金沢市堀川新町7-1
松本	キッセイ文化ホール	〒390-0311 松本市水汲69-2
静岡	静岡学園早慶セミナー	〒422-8076 静岡市駿河区八幡1-1-1
彦根	彦根勤労福祉会館	〒522-0074 彦根市大東町4-28
大阪	A-P大阪梅田東 大阪公立大学I-siteなんば	〒530-0027 大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル5F 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル2F
広島	RCC文化センター	〒730-0015 広島市中区橋本町5-11
高松	高松商工会議所	〒760-8515 高松市番町2-2-2
福岡	福岡県中小企業振興センター	〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9-15

地区Ⅲ：前期入試AM方式・BM方式 2月4日、2月5日

会場	会場名	住所
富山	富山県中小企業研修センター	〒930-0855 富山市赤江町1-7
岐阜	じゅうろくプラザ	〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11
浜松	浜松市福祉交流センター	〒432-8035 浜松市中区成子町140-8
豊橋	豊橋商工会議所	〒440-8508 豊橋市花田町字石塚42-1
津	三重地方自治労働文化センター	〒514-0004 津市栄町2-361

地区Ⅳ：後期入試 3月9日

会場	会場名	住所
岐阜	じゅうろくプラザ	〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11
浜松	えんてつホール	〒430-8655 浜松市中区旭町12-1 遠鉄百貨店新館8F
豊橋	豊橋商工会議所	〒440-8508 豊橋市花田町字石塚42-1
津	三重地方自治労働文化センター	〒514-0004 津市栄町2-361

17.合格発表

合否発表日の午前 11 時から「CUhub」で合否結果を発表します。「CUhub」マイページにログインし、「合否結果」から確認してください。合否に関する書類等の発送はありませんのでご注意ください。

合否発表日時

入試制度		日時
特別奨学生入試（一般合格）		2023年12月23日（土）午前11時
特別奨学生入試（特別奨学生）		2024年1月11日（木）午前11時
前期入試 A方式・B方式・共通テストプラス方式 AM方式・BM方式		2024年2月16日（金）午前11時
共通テスト利用入試	前期	
	後期	2024年3月15日（金）午前11時
後期入試		

注意事項

1. 電話やメール等による合否のお問い合わせには一切応じません。
2. 合否に関する通知書の送付は行いません。合格通知書が必要な方は「CUhub」マイページより「入学手続」に進み、ダウンロードしてください。
3. サービス開始直後はアクセスが多くながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
4. 「CUhub」合否結果の「誤操作」「見間違い」等を理由とした手続締切日後の入学手続は一切認めません。

追加合格について

1. 合格者の手続状況により、追加合格を出すことがあります。
2. 追加合格の対象となるのは、特別奨学生入試、前期入試、共通テストプラス方式、共通テスト利用入試、後期入試の受験者です。
3. 追加合格の候補者に対する事前通知（補欠通知）は行いません。
4. 追加合格は、2024年2月27日、2024年3月15日（この日程以外に発表する可能性もあります）に「CUhub」マイページの「合否結果」で発表し、対象者には「CUhub」に登録のメールアドレスにお知らせします。各日程とも午前9時に発表します。
5. 追加合格者の有無については、本学ウェブサイトでお知らせします。
6. 追加合格について、電話やメール等によるお問い合わせには一切応じません。

18.入学手続

1. 入学手続は「CUhub」の「[入学手続](#)」から行います。[入学手続に関する書類等の送付はありません](#)ので、各手続の期限にご注意ください。詳細は、本学ウェブサイト「[入学手続](#)」に公開する[入学手続要項](#)で確認してください。
2. 入学手続期限は[締切日必着](#)です。期限を過ぎたものについては一切受理しません。[期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います](#)。
3. いったん納入された入学料および入学手続書類等は、返還しません。
4. [入学手続要項](#)の確認不足等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。
5. [共通テストプラス方式](#)、[共通テスト利用入試による入学者](#)は、入学時に大学入学共通テストの受験票の提示が必要になります。紛失しないようにしてください。

入学手続期限（必着）

入試制度	入学料の納入期限	書類の提出期限	学費等の納入期限
特別奨学生入試	2024年2月22日（木）	2024年3月8日（金）	2024年3月8日（金）
前期入試 A方式・B方式・共通テストプラス方式 AM方式・BM方式			
共通テスト利用入試			
	前期	2024年3月19日（火）	
	後期		
後期入試			

入学料の振替について

入学料を納入した後、本学の異なる学科（専攻）に合格し、入学を希望する場合は、すでに納入した入学料の振替ができます。振替手続は「[CUhub](#)」マイページの「[入学手続](#)」から行ってください。

入学辞退者への学費等の返還について

学費等を納入した者で入学を辞退する場合には、入学料を除く学費（授業料・施設設備費・教育充実費）、委託徴収会費等を返還します。返金額は返還事務手数料（500円）を除いた金額となります。返還手続は「[CUhub](#)」マイページの「[入学手続](#)」から行ってください。

国の教育ローンについて

入学料、学費、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「[国の教育ローン](#)」があります。詳しくは、「[国の教育ローン](#)」ウェブサイトをご確認ください。

19.2024 年度入学者学費等

学費等は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。なお、保険料は改定される場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

(単位：円)

	工学部		経営情報学部		国際関係学部 人文学部		応用生物学部		現代教育学部		理工学部	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	465,000	465,000	365,000	365,000	385,000	385,000	465,000	465,000	360,000	360,000	465,000	465,000
施設設備費	130,000	130,000	110,000	110,000	110,000	110,000	130,000	130,000	110,000	110,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,300		3,300		3,300		3,300		3,300		3,300	
学生教育研究賠償責任保険料 ※1									1,360			
計	1,003,300	670,000	883,300	550,000	903,300	570,000	1,003,300	670,000	879,660	545,000	1,003,300	670,000
1年次	1,673,300		1,433,300		1,473,300		1,673,300		1,424,660		1,673,300	
2年次	1,360,000		1,120,000		1,160,000		1,360,000		1,150,000		1,360,000	
3年次	1,380,000		1,140,000		1,180,000		1,380,000 1,440,000 ※2		1,170,000		1,380,000	
4年次	1,400,000		1,160,000		1,200,000		1,400,000		1,190,000		1,400,000	

※1 委託徴収会費等 ※2 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

(単位：円)

	生命健康科学部											
	生命医科学科		保健看護学科		理学療法学科		作業療法学科		臨床工学科		スポーツ保健医療学科	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	495,000	495,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	465,000	465,000	440,000	440,000
施設設備費	175,000	175,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
修学諸費	40,000	40,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,370		3,300		3,300		3,370		3,370		3,300	
医学生教育研究賠償責任保険料 ※1	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000			
計	1,120,370	785,000	1,045,300	710,000	1,045,300	710,000	1,045,370	710,000	1,020,370	685,000	978,300	645,000
1年次	1,905,370		1,755,300		1,755,300		1,755,370		1,705,370		1,623,300	
2年次	1,710,000		1,560,000		1,510,000		1,510,000		1,460,000		1,410,000	
3年次	1,730,000		1,580,000		1,530,000		1,530,000		1,480,000		1,430,000	
4年次	1,750,000		1,600,000		1,600,000		1,600,000		1,550,000		1,450,000	

※1 委託徴収会費等

入学料・後援会費・学生教育研究災害傷害保険料・医学生教育研究賠償責任保険料・学生教育研究賠償責任保険料は入学時のみ。

授業料・施設設備費	2年目以降年額各10,000円増額
教育充実費	2年目以降同額
修学諸費	2年目以降、生命医科学科は年額200,000円、保健看護学科は年額150,000円、 理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科は年額100,000円（ただし4年目150,000円）、スポーツ保健医療学科は年額100,000円、 現代教育学部は年額40,000円 3年目のみ、食品栄養科学科 管理栄養科学専攻は、年額60,000円

20.アドミッション・ポリシー

総合型選抜（特別奨学生入試）では、下記の(1)、(3)～(6)を重視し、書類審査、学力検査、面接等によって選抜します。一般選抜（前期入試、共通テスト利用入試、後期入試）では、下記の(3)、(4)を重視し、書類審査、個別筆記試験、大学入学共通テスト等によって選抜します。

工学部 機械工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 機械工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、機械工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学に関して、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数、ベクトル、微分法・積分法を利活用できること。
- ・物理に関して、平面内の運動と剛体のつり合い、運動量、円運動と単振動を利活用できること。

工学部 都市建設工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 都市建設工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、地域のデザインを通して地球環境の保全、人間社会の持続可能な発展、災害対策に関わる領域で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語、国語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・数学では、特に三角関数、指数・対数関数、微分、積分など。
- ・物理では、特に力のつりあい、物体の運動とエネルギーなど。
- ・英語では、文法、読解、会話など。
- ・国語では、文章作成、文章読解など。

工学部 建築学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

(6) 建築学とともに人間・社会・芸術に強い関心と高い学習意欲をもち、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科、国語、英語の教科書を再度復習し総合力を高めること。
- ・社会、芸術、保健体育、家庭、情報各教科の学習意義を改めて理解するとともに、幅広く興味・関心を持つ習慣を身につけること。

工学部 応用化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 化学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、化学計測、無機・有機およびナノ複合材料、エネルギー、環境などの領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、数学、英語の教科書を再度復習し理解を深めること。
- ・化学では特に原子の構造、化学結合、物質質量、化学反応式、濃度、酸塩基、酸化還元など。
- ・数学では特に指数・対数関数、微分、積分など。

工学部 情報工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) コンピュータの仕組みや応用に強い関心と高い学習意欲をもち、高度情報化社会において情報科学、ソフトウェア、情報通信、ハードウェアに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語の教科書を復習し理解を深めること。
- ・数学では三角関数、指数・対数関数、微分、積分、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では電気と磁気、物体の運動とエネルギーなど。
- ・日本語（読み書き）がきちんとできること。
- ・ITパスポート試験に挑戦してみることが望ましい。

工学部 電気電子システム工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」等の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 電気電子システム工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、通信・システムに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学については、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分、複素数、ベクトル等を理解して利用できることが望ましい。
- ・理科のうち、特に物理の力学（物体の運動、力のつり合い、運動量、単振動、エネルギーなど）および電磁気（静電気力、電界、電気力線、電位、コンデンサ、静電エネルギー、電流、磁場、電磁力、電磁誘導など）等を理解して利用できることが望ましい。

経営情報学部 経営総合学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

- (3) 経営学と情報学を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 企業経営と情報に強い関心と高い学習意欲をもち、経営者や会社のキーパーソンとして活躍しようとする意欲がある。または、情報システムの知識・技術に関わる領域や会計専門職や会計の知識に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の授業科目のうち、特に英語、数学、国語、地歴・公民の学習内容を十分に習得していることが求められる。これらは全て大学における学修の基礎となるものである。また、経営・経済分野については、新聞やニュースに関心をもち、知識だけでなく、自分の意見を言えるようにしておくことが望ましい。

国際関係学部 国際学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

- (3) 国際関係や他文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 世界各国・地域の人々の生活や社会制度、英語や中国語などの外国語、国際関係に強い関心と世界の動きを多面的に理解する学習意欲をもち、積極的に他者とコミュニケーションを図り、多文化共生社会や国際政治・国際経済・国際協力に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語・社会・英語についての基礎学力を有し、政治経済や倫理社会などにも意欲をもって取り組んでおくことが望ましい。
- ・外国語の運用能力（実用英語技能検定準2級程度、中国語検定4級、漢語水平考試（HSK）3級、ハングル検定4級相当など）を備え、さらに高めることに意欲的であることが望ましい。

人文学部 日本語日本文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

- (3) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、日本の言語や文化に関する深い知識と理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・日本語・日本文学について学ぶための基礎学力として、高等学校における「国語総合」「国語表現」「現代文」の学習が強く望まれる。
- ・日本文化について学ぶための基礎学力として、高等学校における「日本史」「世界史」の学習が強く望まれる。
- ・知識の応用力・論理的思考力を身につけるために、読書を習慣化することが望まれる。

人文学部 英語英米文化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、本格的な英語運用能力と異文化理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校までの英語学習をしっかりと理解していることが望まれる。
- ・英語だけでなく、他教科においても、幅広い基礎学力を有していることが望まれる。
- ・英語を積極的に使おうとする意欲があることが望まれる。
- ・英語圏の文化に対する強い関心があることが望まれる。
- ・円滑で、より豊かな対人コミュニケーション能力を身につけようという意欲や向上心があることが望まれる。
- ・大学における英語の発展的学習の基礎となる英語運用能力（実用英語技能検定（英検）準2級以上あるいは同等の英語力）を備えていることが望まれる。

人文学部 心理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 人の「こころ」をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 人の「こころ」をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、「こころ」に関する問題を論理的に解明し、表現する力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・調査や実験等で得られたデータを統計的に分析するための数学的能力、論理的能力を身につけていることが望まれる。
- ・結果を読み取り、理解し、筋道たてて記述するための国語力を身につけていることが望まれる。
- ・海外の文献を読むための英語力を身につけていることが望まれる。

人文学部 歴史地理学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 歴史や地理をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 歴史や地理をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、歴史学・地理学の専門知識と研究方法を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、英語、社会の教科書を復習し、内容の理解を深めておくことが望まれる。
- ・国語では、語彙を増やし、古典・漢文も復習することが望まれる。
- ・英語では、基本的な文法を復習・習得し、単語・熟語の語彙を増やしておくことが望まれる。
- ・社会では、特に地理あるいは歴史の教科書の基本知識を十分に理解しておくことが必要である。
- ・地理あるいは歴史について自分の興味ある内容を積極的に説明できることが望まれる。

人文学部 メディア情報社会学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、高度なキュレーションスキルとクリエイションセンスを活かすことのできる領域を通して、末長く社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・メディアの社会への影響を考えるために必要となる幅広い基礎学力を身につけておくことが望まれる。
- ・筋道の立った文章を書くための文章力を身につけておくことが望まれる。
- ・他者に自分の考えを表明できるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。
- ・社会の中の出来事に関心をもつ姿勢を身につけておくことが望まれる。
- ・インターネット上の情報の真偽について考える習慣を身につけておくことが望まれる。

応用生物学部 応用生物化学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジーに強い関心と高い学習意欲をもち、医療や医薬品・食品などのバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、数学の教科書を再度復習し、理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・数学では特に指数・対数関数、確率統計。
- ・国語の学習によって、筋道の通った文章が書けることが望まれる。

応用生物学部 環境生物科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した「環境生物学（生態系における個体の生物学）」に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した環境生物学に強い関心と高い学習意欲をもち、環境評価や環境問題の解決に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学について、教科書レベルの基礎知識を習得しておく必要がある。
- ・環境、生物に関連する自然科学分野の文章読解力、作文能力を身につけておく必要がある。
- ・PCを用いたレポート作成法を取得しておく必要がある。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 「食」や「栄養」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 「食」や「栄養」に強い関心と高い学習意欲をもち、食品科学と栄養科学に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・化学、生物、英語の教科書を再度復習し理解を深める。
- ・化学では特に化学結合、原子量・モル・化学反応式、酸と塩基、酸化還元。
- ・生物では特に細胞と人体組織、生体構成成分、代謝、遺伝子とDNA、遺伝子発現。
- ・国語では論理的な文章を書けるようにすることが望まれる。
- ・英語についても基礎を復習し理解を深める。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 「食」と「健康」の分野に関する領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 「食」と「健康」に強い関心と高い学習意欲をもち、国家資格としての管理栄養士に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・管理栄養士の職能について十分理解しておくことが必要。
- ・化学基礎、生物基礎の教科書を再度復習し理解を深めておくことが必要。

生命健康科学部 生命医科学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 病気の予防や健康の維持増進の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 病気の予防や健康の維持増進に対して強い関心と病気や健康不安の仕組みに学習意欲をもち、臨床検査、または薬物・資材・機器・医療技術の開発・研究および販売等を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物、化学、物理の教科書を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・生物では特に細胞、代謝、遺伝子、体内環境などの理解が必要となる。
- ・化学では溶液の濃度、物理では原子、力学、電磁気などの理解が特に必要となる。

生命健康科学部 保健看護学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康の分野を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康に強い関心と高い学習意欲をもち、看護の専門職として他職種と協働し社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・人体のしくみを理解するうえで必要な生物・化学の基礎を身につけることが望まれる。
- ・人の健康と生活に関わる保健・家庭等の科目の内容の理解も必要となる。
- ・筋道の立った文章表現ができる国語力の獲得が望まれる。
- ・看護実践をするうえで必要となる数学の基礎の習得も望まれる。
- ・対象・場面に即した言葉遣いと基本的な礼儀・マナーの習得が望まれる。

生命健康科学部 理学療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 医学・生命科学、理学療法を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 医学・生命科学、理学療法に強い関心と高い学習意欲をもち、理学療法に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の教育内容（国語、生物・化学・物理の基礎、数学の基礎など）を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身に付けることが望まれる。
- ・自分の考えを伝えるための表現力・他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

生命健康科学部 作業療法学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションを学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションに強い関心と高い学習意欲をもち、作業療法士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語、生物、数学・物理、家庭、保健体育の以下の内容を再度復習し理解を深めることが望まれる。
- ・国語では、論理的な筋道の立った文章が書けることが必要となる。
- ・生物では、人のからだの仕組みや構造について学んでいることが必要となる。
- ・数学・物理では、三角関数や物体の運動とエネルギーを学んでいることが必要である。
- ・家庭では、自立した生活者に必要な衣食住や消費生活・環境に関する知識・技能、親の役割と子育て支援に関する知識・技能、高齢者の尊厳と介護、生活支援に関する知識・技能を理解していることが必要である。
- ・保健体育では、健康の保持増進や疾病予防に必要な知識・技能を理解していることが必要となる。

生命健康科学部 臨床工学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 工学と医学が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 工学と医学が重なる領域に強い関心と高い学習意欲をもち、臨床工学技士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高校で勉強する数学、物理（物理基礎）、化学（化学基礎）、生物（生物基礎）をきちんと理解していることが望まれる。
- ・臨床工学技士の役割や職能などについて自ら調べ、理解することが望まれる。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) スポーツや保健医療（医学）が重なる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) スポーツや保健医療（医学）に強い関心と高い学習意欲をもち、スポーツ医学を国民の生活の質（QOL）の向上に役立てる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・生物（生物基礎）、数学、国語、保健分野の知識、さらに、主語と述語の関係が明確な筋道の通った文章が書けることが望まれる。

現代教育学部 幼児教育学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 乳幼児の保育・教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 乳幼児の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・コミュニケーション力や論理的な思考力、表現力を発揮するために、国語の基礎的な内容を習得していることが望まれる。
- ・子どもの表現活動を学ぶために、音楽・美術・保健体育に関する基礎的な知識や技能を有していることが望まれる。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 児童生徒の教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 児童生徒の教育に強い関心と高い学習意欲をもち、小学校教諭・中学校理科教諭・特別支援学校教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・高等学校の全教科（実技教科を含む）の内容を十分理解できていることが大切である。教科書の内容を十分に復習することが望まれる。また、日本語検定 3 級、数学検定 3 級、実用英語技能検定準 2 級程度の学力を有することが望まれる。実際に受検し挑戦することが望ましい。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻

本専攻は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 中学校教育に関わる領域を学ぶために必要な基礎的な学力を有し、知識の応用力・論理的思考力などを身に付けている。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 中学校教育に強い関心と高い学習意欲をもち、中学校国語教諭および中学校数学教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・国語志望者は、高校古典（古文・漢文）の総復習と、国語教科書「読書案内」に紹介の本を読むこと。数学志望者は、高校数学（数 I ～ III、AB）の総復習。また、日本語検定 2 級、数学検定 2 級・準 1 級合格を目指した学習を進めることが望まれる。

理工学部 数理・物理サイエンス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 数学および物理学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、数学およびデータサイエンス等の応用分野を含めた数理科学、物理学および物質科学や宇宙・地球科学等の応用分野を含めた物理科学に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 A | ロボティクス学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) ロボット理工学とともに、ものづくりに強い関心と高い学習意欲をもち、機械、電気、電子、情報工学などに関わるロボット製作や工学デザイン領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、理科（物理・化学）、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 宇宙航空学科

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

求める人間像 1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像 2（知識・技能）

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
 (3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像 3（思考力・判断力・表現力）

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
 (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像 4（主体性・多様性・協働性）

- (6) 宇宙航空学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、制御理論や流体力学、材料力学などに関わる航空機製造や宇宙に関係する領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

高等学校段階までに身につけてほしいこと

- ・数学、物理、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では数と式、統計・データの分析、二次関数、三角関数、微分・積分、指数・対数、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では物体の運動とエネルギー、力の釣り合い、気体の状態変化、電気・磁気など。

21.入学検定料の返還

下記「1.入学検定料返還請求事由」に該当し、かつ下記「4.返還請求方法」に則り請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料の返還には、請求締切以後、1～2ヵ月程度かかります。

1. 入学検定料返還請求事由

1. 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
2. 出願資格を欠く者が出願した場合
3. 出願締切日後に出願した場合
4. 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
5. その他

※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

2. 返還請求受付締切日

下記締切日までに申請してください（**必着**）。

入試制度		締切日
特別奨学生入試		2023年12月5日（火）
前期入試 A方式・B方式・共通テストプラス方式 AM方式・BM方式		2024年1月22日（月）
共通テスト利用入試	前期	
	後期	2024年3月1日（金）
後期入試		

3. 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として、整理番号1件につき500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

4. 返還請求方法（郵送に限ります）

下記（1）（2）を封入し、宛先左側に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、郵送してください。

宛先：〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学入学センター事務部 入試事務課

- （1）入学検定料返還申請書（本学ウェブサイトから指定様式をダウンロード）
黒ボールペンで必要事項を記入してください。
- （2）返還請求事由が 5.その他 の場合、診断書などその事実を証明する書類を添付してください（該当者のみ）。

5. 返還手続上の注意

1. 請求締切日までに必要書類が提出出来ない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、請求を受理しません。
なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
2. 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人または保護者としてください。

22.入試における学力の3要素

入試における選抜方法と学力の3要素の関連性は以下のとおりです。



入 試	選抜方法	学力の3要素		
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
特 別 奨 学 生 入 試	書類審査（調査書）	Light Green	Light Green	Light Green
	学力検査	Dark Green	Medium Green	Light Green
	面 接（志望理由書）	Light Green	Medium Green	Dark Green
前 期 入 試 共 通 テ ス ト 利 用 入 試 後 期 入 試	書類審査（調査書）	Light Green	Light Green	Light Green
	学力検査	Dark Green	Medium Green	Light Green

諸事情により出願確認票が印刷できない方は以下の手順を進めてください。

1. パソコン画面で出願確認票を表示させ、下の志願受付確認票(送付用)に「登録日」「整理番号」「氏名(漢字・カナ)」「生年月日」「住所」を転記する(このページを切り取ってご使用ください)。
2. 入学検定料について、コンビニエンスストア・ネットバンキング(ペイジー含む)で支払う場合は、必要となる番号を正確にメモし、利用してください。
3. 「共通テストプラス方式」「共通テスト利用入試」に出願する場合、大学入学共通テスト成績請求票を所定欄に貼付してください。
4. 「11.インターネット出願」を参照して出願書類を準備し、角2サイズの封筒に下記住所を手書きした上で志願受付確認票(送付用)と出願書類(調査書等)を同封して郵送(速達・簡易書留)してください。

出願書類宛先

〒481-8585
中部大学 入学願書受付センター

出願確認票が印刷できない方は、以下の記入欄に必要事項を記入してください。

記入後、このページを切り離し、出願書類一式とともに角2サイズの封筒で上記の出願書類宛先へ郵送(速達・簡易書留)してください。

登録日	年 月 日
整理番号	
氏名(漢字)	
氏名(カナ)	
生年月日	年 月 日
住所	□□□□-□□□□□□

[「共通テストプラス方式」](#)

[「共通テスト利用入試」](#)

出願者のみ

大学入学共通テスト成績請求票貼付欄

ここに
2024(令和6)年
大学入学共通テスト成績請求票
(私立大学・公私立短期大学用)
を必ず貼付すること



中部大学

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地 ☎0120-873941
ウェブサイト <https://www.chubu.ac.jp/> E-mail koho@office.chubu.ac.jp

中部大学は、よりよい環境対策をめざし、エコキャンパスとして、大学全体で取り組んでいます。